京城日報

十日夕刊
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

◎段内閣總辭職の意

段内閣は其の政策を貫徹するを得ずとの理由により總辭職をなすべき意ありとの報あり（上海特電）

◎熊希齡と退職勸告

北方の媾和全權副使に擬せられ居たる熊希齡氏は湖南より北上後天津に居を卜し袁總統の召命あるも應せざりしが八日袁總統に書を送り最早姑息の安協をなす時に非ず斷然退職すべしと勸告し同時に參政の辭表を提出せり（北京特電）

◎山東獨立近し

山東省革命軍は近く獨立の宣布をなすべく濟南府

濰縣に於ける支那兵暴行に伴ふ邦人被害事件は近く之を北京に移し支那政府に對し正式交渉を開始すべし（東京電報）

◎交戰團體承認か

南方政府正式成立を告げたるを以て列國は近く交戰團體の承認をなすべしと傳へらる（東京電報）

◎黄興湘南に隱る

九日横濱入港の春洋丸にて來著し浦賀港より行衛を晦ましたる黄興は鎌倉に潜み密かに同志と會見し種々謀議を凝し居れりと（東京電報）

◎獨帝のビ公召見

獨逸皇帝は前首相ビューロー公を大本營に召されたるが右は媾和問題に關する要件なるが如く甚大なる政治上の意味を含み居るものと思惟せらる（倫敦電報）

◎羅馬法皇の媾和運動

米大使獨帝會見と米獨交渉

羅馬法皇の代表者は米國に對し媾和運動を要求したるが獨逸と羅馬法皇とは既に媾和條件迄略ぼ定まり居る模樣にて駐獨米國大使ゼラード氏が戰場に於て獨逸皇帝と會見したるは單に米獨交渉のみに非ず媾和に關する談話もあり米國が今回獨逸の回答を承認せんとするも之等の消息を語るものありと（桑港電報）

◎三〇四高地陷落

ヴェルダン三〇四高地は獨軍の猛烈果敢なる攻撃により遂に陷落せり佛軍は第二防禦線に撤退し防戰克く力めつゝあるを以てヴェルダンの戰況は猶悲觀すべき程度に非ずと（東京電報）

◎軍需品注文四億

開戰以來今日に至る迄露國政府より我國に注文ありたる軍需品總價額四億圓に達せりと（東京電報）

◎首相藏相訓示

十日首相官邸に地方官を召集し大隈首相及び武富藏相より施政及び財政に關する一場の訓示をなしたり（東京電報）

◎守備兵永住策

滿鐵會社にては現駐屯鐵道守備隊の滿期兵を蒙古に送りて永住せしめ滿蒙開發の資を擧げんと畫策中なり（東京電報）

◎飛田遊廓問題

大阪東上委員首相、内相、文相及び各政黨本部歴訪の結果政府與黨及び在野黨共皆命令取消の主張一致せり其結果大久保知事は全く窮地に陷れり（東京電報）

◎一圓紙幣增加

政府は一圓紙幣を增加發行に決行す（東京電報）

●危機に瀕せし黑龍江省

露國の力にて事落著

黑龍江省の動搖は將軍朱慶瀾氏任地を引揚げ畢桂芳氏其の後任となり朱將軍を威嚇追放せんとしたる齋々哈爾の第一師長許蘭洲氏中將暫辦軍務に任せられ畢氏著任まで軍民兩治の責に當る事となりて一先づ落著を告げたり朱黑龍江將軍は温厚の質にして任地に在ること三年外は露國との親善に努め内は官民の意思疎通に力を致し大體評判好き人物なりしに支那此次の時局に際し其の觀察を誤まり飽まで袁總統の爲に忠勤を擢んで袁氏擁護に力瘤を入れ過ぎし爲め民望乍ち去り商工各界のもの亦將軍を喜ばず此機に乘じ革黨員の煽動運動あり野心滿々たる許師長は此の氣運と共に其の鋒鋩を發露し遂に朱將軍に向つて退去を迫り聽かずんば武力に訴へて一騷動持ち上げんとまで形勢逼迫せしところ親露主義者たる將軍は早くも露國領事館に至りて援助を求め露國領事は哈爾賓總領事と協議の上更に護境軍團長とも打合せをなしたる後勢ひ込める許將軍に對し北滿洲において不穩の擧動あるに於ては治安秩序を維持せんが爲め露國は止むを得ず武力を行使するに至るべしとの極めて強硬なる高壓的公文を送る而して其の結果は許將軍の屏息となり同時に露國援護の下に朱將軍の引揚となり一時危急に瀕せし黑龍江省も斯くて一先づ無事に事の落著を見るに至りたるなり前黑龍江將軍朱少濂氏は露國に楯を突きし爲め露官憲の忌む所となり放逐同樣の憂目に遇ひたるが朱慶瀾氏は此の前車の覆轍に鑑み赴任以來努めて露國官民の意を迎へ何事にも親露主義を發揮したれば偖こそ此次の危急に露國官憲の援助を受け無事に任地を引揚ぐるを得たる次第にて後任に擬せられし畢桂芳氏もまた親露主義の人物なりと云へば露國の北滿における勢力之に由て充分に判斷し得るに難からざるものあり朱將軍引揚後當分黑龍江省の軍民兩治を代理擔當する事となりし許將軍は必ずしも親露主義の人に非ざるも一武辯に過ぎず勿論露國の勢力に拮抗し得る程の力もなければ今後の黑龍江省も結局は露國の態度如何に依りて如何樣にも決するなるべし（大連）

●總督巡視地

寺内總督一行は十日午前七時三十分南大門驛發臨時列車に搭乘南鮮地方巡視の途に就きたるは別項記載の通りなるが一行は永登浦にて下車、直ちに自動車を驅つて忠州に向へり同地にては諸官衙並に黄色煙草耕作狀況を視察の上同地に一泊十一日早朝出發の筈なり

●司法官會同

總督府にては二十二日より二十八日まで一週間總督府第二會議室に於て司法官會同を開催の筈なるが典獄會同は之れに引き續き二十九日より三十一日まで三日間同會議室に開催す可しと

●税關長會議

總督府にては鮮内税關長を召集し十五日より十九日まで五日間總督府第二會議室に税關長會議を開催の筈なるが其日程左の如し

十五日　諮問事項答申
十六日　諮問事項答申
十七日　諮問事項答申
十八日　税關長提出意見
十九日　總督指示及び訓示

而して議場は荒井度支部長官之れを統裁し總督府並に所屬官署の關係各高等官參列すべく會議時間は毎日午前九時より正午までなりと

●選露救護班出發

選露赤十字社救護班上野醫長以下一行は十日午前八時三十分南大門驛發汽車にて退京歸東の途に就けり、驛には赤十字社、愛國婦人會各役員、總督府醫院副院長森安博士以下醫官醫員看護婦等の外官民有志百數十名の見送りありたり、因に一行は途中京都に立寄り桃山御陵を參拜す可しと

●東淸鐵道委員

東淸鐵道事務總管フォーレー、外交部特派員陳國華兩氏は隨員徐氏と共に十日午後九時四十分南大門發奉天に向ふ

●軍司令官巡視

井口軍司令官は十五日頃より出發南鮮巡視の途に上る事となりたるが來月五日頃歸任す可しと

●白水軍參謀長

駐劄軍參謀長陸軍少將白水淡氏は十日午前八時四十分龍山發鳥致院を經て忠州に向ひたるが清州を除きたる他の箇所にて總督と出會し總督と同時に歸來すべしと

●吉原總裁歸京

東拓總裁吉原三郎氏は馬山に宿痾を療養中なりしが容態良好なるも總會開期切迫の爲め十日午後九時南大門驛發列車にて歸京の旨會社に電報あり其の東上は兩三日中ならん

●松永長官視察

松永京畿道長官は數日來京城府内の一般事務視察中の處十日は總督に隨行して道境迄出張したるが十一日より再び數日間引繼ぎ事務の視察を爲す由にて最後に廳員一同を集め訓示する所あるべしと

●醫師合格者發表

朝鮮醫師開業試驗は四月二十日より京城醫學專門學校に於て施行中なりしが五月二日午前を以て全部の試驗を終了し十日を以て成績を發表したるが合格者七名の内内地人二名朝鮮人五名あり其の氏名左の如し

氏名	出生地	生年月
▲方合信	京畿道	二十三年八月
▲朴泰亨	咸鏡道	二十三年二月
▲金鎭成	江原道	廿四年十二月
▲簡承禹	黃海道	十九年十月
▲谷本佐一	山口縣	廿三年十二月
▲金顯國	京畿道	二十二年八月
▲牧駿	德島縣	二十四年五月

●日露電信全通

暴風の爲め不通となりゐたる京城浦鹽間の日露連絡電信は九日朝全通したり

●職員研修會例會

總督府職員研修會第十回例會は十日午前八時より總督府第二會議室に開催、各部長官、局長、課長其他高等官をはじめ甲班に屬する判任官等二百數十名參列、庵原水産技師の「朝鮮に於ける現象」と題する講話あり九時三十分散會したり

●總監部恒例講演會

警務總監部憲兵隊司令部恒例講演會第十回は十日午前八時警務總監部會議室に開催判任官以上全部出席坂東衛生課長の衞生上に關する講演及び太田憲兵大尉の警察禮式に關する講演實習等ありたり

●京城通關貿易

前月中に於ける京城通關貿易は輸移出十三萬八千四十五圓輸移入百零一萬九千七百零二圓にして之れを前月に比すれば出に於て差なく入に於て棉糸布需要盛期を過ぎ更に夏物の入荷稍前月より減退せし爲め約十萬圓の減少を告げたり而して輸移出の主なる者は牛皮の六萬八千七百圓煙草の一萬三千二百圓とし輸移入重要品は小包の十一萬一千圓を筆頭とし生金巾七萬三千圓日本木綿四萬八千圓煙草の三萬圓等なりと

●議員表彰の期日

京城商業會議所にては京城日本人商業會議所解散當時の議員並に歷代の各會頭に對する表彰記念品贈呈に就ては表彰狀は既に印刷出來したるも記念メダルは今尚ほ美術品製作所に於て製作中なれば其出來を俟つて表彰式を擧行する筈なり期日は未だ決定せざれども或は六月下旬原田會頭の歸任を待つて擧行するに至るやも知れずと

●久原製錬所と鉛鑛

久原南浦製錬所は從來主として金銀銅亞鉛重石等の買鑛製錬を營業とせしも今回事業の發展を計り鉛鑛の買入製錬を開始したり朝鮮にて鉛鑛の買入製錬等は是れを以て嚆矢とす（平壤）

●北鮮露貨稍昻る

北鮮清津羅南方面に於ける露貨は漁期に入りし事とて鰊の買出し資金として露領方面に流出する者多く昨今其の相場は稍高騰して六十二圓處なり

●光州農工債券償還

光州農工銀行にては隆熙二年十二月廿五日發行乙號農工債券十圓券一千枚即ち一萬圓を抽籤にて償還する事となり五月十日午後一時同行樓上に於て抽籤を行ひたりと

●鮮銀券發行高

四月三十日より五月六日に至る朝鮮銀行券總發行高は二千八百八十六萬八千六百六十七圓にして正貨準備發行平均高一千零三十九萬三千五百四十圓保證準備發行平均高一千八百四十七萬五千百二十七圓なりと

●全北輕鐵株主總會

全北輕鐵第四回株主總會は先月廿九日開會財産目錄貸借對照表、損益決算表、利益配當の件等を承認し取締役七名を五名と爲すの件を承認すると同時に取締役柳斗煥氏退き朴基順氏就任監査役大澤藤十郎、花田藏吉、野尻安三氏新任、更に機關車一輛、貨車十輛買入の件を可決したり

釜山

▲記念公園起工　釜山港記念事業たる龍頭山公園加工の件は過日加工許可の指命を受けたるを以て十一日府協議會を開會の際一應諮問したる上起工すべしと▲記念品贈與式　釜山商業會議所に於ては新舊議員六十五名に對し記念品を贈與する事は既報の如くなるが記念品の青銅貨入の注文殘餘は全部八日到著せるを以て來十二日頃同會議所樓上に於て議員諸氏の出席を乞ひ贈與式を開催する由▲別府行一行　釜山米穀商組合四十七名一行は別府温泉場へ旅行中なりしが九日午前高麗丸にて無事歸釜せり

光州

▲果樹大損害　七日の暴風にて羅州郡の果樹園は大損害を蒙り梨、苹果等花は全部吹き落され葉は恰も湯に漬けたるが如く萎れ中には枝或は幹を吹き折られたるも有りて殆んど全滅の有樣なるが損害高は頗る莫大に上る見込みにて目下調査中▲講習所春蠶掃立　當地柳林蠶業講習所に於ては七日掃立て昨年は九日掃立蟻量十二匁にして本年の方成績良好桑も連日の雨にて發芽多く成育佳良なりと▲府尹郡守會議日程　十日より三日間開會の全南府尹郡守島司會議日程は左の如し
第一日管内狀況陳述▲第二日管内狀況陳述、提出意見陳述、指示▲第三日指示、警察部長演述、訓示
▲井出經理部長　駐劄軍經理部長井出主計監は九日來光大隊本部憲兵隊等を巡視したる上木浦へ赴く筈▲大典活動寫眞盛況　京日毎日申支局主催御大典活動寫眞は七八兩日晝夜光州座にて催したるが各學校生徒、軍隊其他の團體觀覽等もあり夜は又一般觀衆に依り滿員を呈し二日共大盛況の裡に終りを告げたり▲通俗講演會　當地曹洞宗布教所主催となり九日釋尊降誕會當夜光州座に於て通俗教育講演會を開催する由にて當地森法主士多羅尾木浦布教師外數氏の講演ある筈なりと▲大清潔法終了　雨の爲め屢々延期せし光州市街大清潔法は七日を以て愈々終了したり

裡里

▲農銀開業披露　全州農工銀行裡里派出所の開業は愈々切迫し所務所の工事も一兩日を以て全部完成する筈なれば既に主任海見一以下の所員も着任し來る十三日を以て開業披露の宴を催す由にて九日裡里は勿論全州群山江景其他裡里の内鮮人中の重立ちたる人士二百名に案內狀を發送したるが一面裡里市民側に在りても四年以來の懸案たる金融機關設置の實現したるとて盛大なる歡迎宴を開催する筈なりしも銀行側にては却つて氣の毒なりと時節柄辭退の意を漏らしたれば別途の催しは中止し披露宴當日に餘興等を寄贈し誠意を表すると共に更に新作の歌曲を作製し既に節付けも終り目下裡里花柳界一粒選りの美形が日夜熱心稽古中なれば當日の賑ひは素敵なるものあらん

鴻山

▲祭典盛況　御大典記念に建設せし鴻山遙拜所の祭典は毎年五月四五日の兩日に行ふことに決定せしが去る四五日は其の當日なる第一回の祭典にして群山神社杉野神官を聘し莊嚴なる祭式を行ひたり其の餘興として四日は内鮮人の大角力ありて賑ひ五日は小學校普通學校並に養蠶傳習所の合併大運動會あり當日の來觀者内鮮人合せて一千餘名に達し鴻山未曾有の盛況なりき殊に鮮人婦女子の觀客の多くして興味を添へしめたるは豫想以上の效果ありたり▲小學校長會議　鴻山、裡里、馬九坪、江景、論山、錦山、珍山、群山の各小學校長は六、七の兩日鴻山に會合校長會議を開催したり

平壤

▲長官管内巡視期　工藤長官は本月十六日開かる可き隊署長會議前道廳所在地附近の管内を巡視し同會議終了を待ちて漸時遠郡の視察をなすべしと▲平壤神社認可　兼て發起者より認可申請中なりし大神宮奉齋殿設立は本月四日總督府より認可の指令ありたり▲鑑定價格の變更　南浦税關及び當地税關出張所は輸移出品鑑定價格を左表の通り改正し本月十六日より實施すべし
▲大豆（上）石六、七四圓▲同（並）同六、二七▲小豆同八、七四▲同（並）同八、二四▲小麥（上）同八、五〇▲同（並）同八、〇三▲荏胡麻（一〇〇斤）五、四六▲乾牛皮（大中）一〇〇斤五二、〇〇圓▲同（小）一〇〇斤四一、〇〇圓

新義州

▲國境守備交代　大木少佐の率ゆる新設歩兵第七十七聯隊第一大隊は國境守備交代の爲め豫定の如く七日午前零時七分新義州驛著官民有志の出迎へを受け同地に駐屯す可き第三中隊は直ちに兵營に入り第一第二の二個中隊は指定の各旅館に分宿し同午前十時第一中隊は義州に第二中隊は楚山に向け出發したり▲税關鑑定價格　同地税關支署にては來る十六日より輸移出品課税價格を左の通り變更實施す可し
大豆（上）一石に付六圓四十六錢同（下）同五圓八十五錢牛皮（乾）百斤に付四十八圓同二十八圓

●安東縣より

▲陸軍大學生團　陸軍大學校長中將河合操氏の率ゐる大學生滿洲戰蹟旅行團一行七十名は來る十五日大連入港の臺中丸にて來滿各地の戰蹟を見學して二十七日來安鴨綠江戰蹟見學の爲當日義州統軍亭へ往復し一泊の上翌二十八日朝鮮へ向ふ豫定なり▲木工廠の總會　安東木工廠株主總會は七日午後四時より公會堂に於て開催大正四年九月より本年四月迄の決算報告を爲し一割の利益配當を可決せり同廠は創立以來日尚淺きに拘はらず近來著しき發展を爲しつゝあるが近く内部の改革を行ふと同時に增資の計畫を爲し京城奉天大連等の各地に販賣店を設置する筈なりと

人事消息

▲宮川五郎三郎氏（平壤電氣會社々長）　十日朝出發內地へ
▲阿部中將（築城本部長）　十日午後九時入京の筈
▲島山虎也太氏（平壤覆審法院長）　九日夜九時四十分南大門通過赴任
▲向井嚴氏（同檢事長）　同上
▲勅使河原鍵之助氏（同地方法院長）　同上
▲本多房次氏（鎭海駐劄工兵少佐）　十日朝入京英國旅館へ
▲府群營宿一行七十八名　十日朝水原へ
▲大津智郎氏（釜山警察署警部）　十一日京城出發赴任
▲佐藤剛藏氏（醫學專門學校教授）　十四日間の限定にて不日京都へ出張
▲西川榮五郎氏（税關鑑定官）　税關鑑定官會議に列席の爲め近日東京へ出張
▲藤澤魏之輔氏（內務參政官）　十五日東京出發滿鮮視察の途十八九日頃入京す可し
▲前町金之助氏（起業會社長）　九日釜山著大池旅館に投宿十一日京城に向ふ筈
▲伊洲由太郎氏（同取締役貴族院議員）　同上

◎日置公使の濰縣事件抗議

日置公使は九日曹氏を訪ひ濰縣にて支那兵の日本兵銃殺、電線切斷、列車に發砲、家宅侵入等に付き抗議を提出せり（北京特電）

◎支那軍隊に抗議的交渉

四日夜より五日朝に亙りて濰縣附近に於ける暴動の爲め我が守備兵を狙撃し列車に射彈を被り電線を切斷され家財を掠奪さるゝの事實ありしを以て六日支那軍隊に對し抗議的交渉を開始したり＝（陸軍省公示）＝（東京特電）

◎馮張倪の袁總統擁護

馮國璋、張勳、倪嗣冲等は袁總統擁護に決し南方にして若し聽かざる時は討伐をなすべしと通牒したり（北京特電）

◎邦人七十六名捕はる

革黨に參加せんとせし邦人七十六名吳淞にて捕はれ九日送還されたり（東京特電）

◎俘虜十三萬二千

伯林來電に據れば獨軍は三〇四高地の頂上を含める北部全體を占領せり俘虜將校以下十三萬二千あり（紐育電報）

總督の地方巡視出發(五月十日朝の南大門驛)

●風薫る南大門
總督地方巡視の途に就く

逝く春を名殘り惜む落ついた空を透して射す麗らかな日に照り映ゆる十日の朝の南大門驛は此日久し振りに地方巡視の途に就かるゝ寺内總督を送るべく

◇歡喜に輝いてゐた、總督の行を送るべく新緑の色鮮かなる南大門通りを馬車、自動車、人力車を驅つて南大門驛に集まるものは昌德宮御使李事務官、德壽宮御使玄事務官、李埈公代理金事務官、李堈公代理張武官等を始め石塚、荒井、大屋、國分、山田各長官、小松、兒玉、持地、鈴木の各局長、松永道長官その他の總督府警務總監部高等官、小宮次官、國分事務官、森安博士、野田東拓副總裁その他の民間有志新聞記者

◇軍隊側からは 井口軍司令官、立花第十九師團長、白水參謀長以下の將校及び同相當官等百餘名であつた、斯くて發車定刻七時三十分の十分前となれば寺内總督は森海軍武官、大藤副官、藤波通譯官等を隨へ馬車にて來着直ちに特別待合室に入り先着して待受けたる李王家の御使井口、立花の各將軍その他の重立つた人の挨拶を受け少憩の後一瀨驛長の案内でプラットフォームに出で此處に待設けた

◇一般の見送人 に一々會釋しながら貴賓車上の人となるまで絕えず微笑を含むで相變らず潑剌たる元氣を示して居られたが發車間際に大塊が巨軀を乘り出して「お歸りにはどうぞお土産を澤山——」と例の俳諧を覓めて哄笑すれば磐庵總督又「澤山持つて來る是非持つてくる」と直ちに快諾見送人を顧みて笑ふ、驚て隨行の宇佐美内務部長官、古海警務總長、森武官、佐藤軍醫正、大藤副官、藤波通譯官、黑田囑託の諸氏が乘車し終れば特別列車は熙々たる日光を浴びて滿目緑葉風薫る南鮮へと一行を運んで行つたのであつた

●漁船數百隻の行衛
大阪商船信濃丸遭難者を救ふ

去る七日夜より稀らしき暴風吹き荒び西鮮沿岸一帶に出漁せる漁船中難破行衛不明となりたるもの多數ある爲め水産組合平南支部所屬の巡邏船は南浦署警備船臺東丸と共に大活動を繼續しつゝあるが當時南浦を根據とせる内地人にして出漁中なりし漁船は椒島沖合の海老延繩船二十一隻平原郡沖合の鮟鱇網船六隻平安北道沖合鷗島附近の二隻等にして是に多數の鮮漁船を加へなば其の數百隻に達すべく其の内難破確實の報を得たるもの數隻あり慘禍が如何なる程度に及べるかは想像に難からざる處にして現に九日未明南浦に入港したる大阪商船の信濃川丸は仁川出港後此暴風に遭遇せるが小乳毒角にて遭難漁船を認め生存者一名を救助し來れり右罹災者は南浦府峽町居住の宮本千代治(三)と云ひ乘組員は他に内地人四名ありたるも是等は轉覆と同時に行衛不明となりたるものにして難波船に取付き居たる折柄救助されたるなりと

●神田明神大祭 東京神田明神にては本年恰も遷座三百年に相當[illegible]蓄もあれど衣裳、舞臺等の都合[illegible]中止さるゝ模樣なり尚ほ氏子連中に[illegible]

[illegible]八月十[illegible]頃より本年三月頃迄數回同里高顯錫の妻金南伊(三七)と私通[illegible]五月八日京城地方法院にて朴泰元は[illegible]總役六箇月金南伊は同四箇月の處分[illegible]

[illegible]山入港高麗丸二二等客[illegible]

天氣豫報 晴一時曇 五月十一日[illegible]

●來島海峽にて汽船衝突
近江丸と立神丸

十日上海より寄港し同日午前十一時三十分門司發神戸に向ひたる郵船近江丸は同夜十時三十分伊豫來島海峽にて神戸より浦鹽に航行中の郵船立神丸と衝突し立神丸の三番層は近江丸の船首に穿たれて浸水したるが附近の小島の北淺洲に乘せ上げて沈沒を免れ目下救助中なり近江丸は被害なく立神丸の乘客を移乘して神戸に向へり(門司特電)

●新綠の故郷へ
遣露救護班一行の出發

八日夜入京した日本赤十字社遣露救護班醫長上野博士以下各醫員婦長友成とみ子以下十二名の看護婦一行二十八名は京龍市中の巡覽を終り十日午前八時三十分南大門より内地に向け出發した、停車場には森安、室谷の兩博士以下の總督府醫院醫官有志、看護婦、赤十字社朝鮮支部役員、愛國婦人會、篤志看護婦人會の役員知己等多數の見送りがあつたが一昨年の十月母國を離れて以來遠く北歐の戰亂の巷に身を置いて救療の事に從ふ事一年六箇月夢寐の間にも懷しまれた故國へ、然かも灰色の國から新綠の鄕へ光榮に輝く勳章徽章を胸間に飾つて誇らかに歸つてゆく看護婦連の顏にはさすがに包み切れぬ嬉しさが浮んでゐた

城壁廻り

■十四日(日曜日) 朝七時半南大門小學校運動場集合=八時出發(時間勵行)

■順路 南大門—西小門—西大門—佛岩—無學峴—仁王山—彰義門—白岳—肅靖門—城北洞—東小門—駱駝山—東大門—光熙門—獎忠壇—南山—漢陽公園—解散

■會費は要せず

■辨當は各自携帶のこと

■肅靖門内にて晝食後陸軍砲兵正領魚潭氏の京城の城壁に關する講話あり

■途中肅靖門、獎忠壇二箇所の休憩所には茶の用意あり

■參加者内鮮人隨意

●緣の下から摘み出さる

京城瑞麟洞居片岡平八(三)は三月二十六日午前十一時頃懇意なる淸進洞伊東某方にて家人不在中の留守居を賴まれたる際同家所有の懷劍一口(價格十五圓)を窃取し之れを携へて大和町若草町等にて賣却せんとしたるも買手なかりし爲め自宅に匿し置きし尚本年十二月以降鍾路四丁目の上田某方に寄食中前後十四回に亙り同家の現金二十四圓を窃取し尚外一箇所にて金指輪一箇(三十圓)をも窃取し空家の椽の下に匿れ居たるを刑事に摘み出され鍾路署の手に檢擧さる

●是れが奥の手
噓八百

宮城縣宮城郡松原村生れ當時京城蓬萊町居元某役所雇員稻留恒一郎(三六)は妻子ある身なるにも拘らず本年二月以降新町遊廓泉樓の抱娼妓小三事永木みつに元祿樓の娼妓小染事金子ちとの色香に耽溺し足繁く登樓し遂にお定りの遊興費に窮したる結果三月十五日には本町四丁目の中原某に實父危篤の電報に接し送金せんとするも無一文なるにつき之申込みて金策を依頼し同人の銀側懷中時計一個を借り出し卽時之を四圓に入質し其の金にて遊興し或は朋友の印章を盜用して借金し又は家族を内地に歸國させる旅費なりと騙り八百を並べて知己より騙金する等前後數回に亙り同樣手段の詐欺を働き己れの與の手はこんなものと夢中になつて遊び居れること發覺し本町署に引致され取調べの上檢事局に送られたり

●畑の中で水掛け喧嘩

京畿道抱川郡永中面申致戍(三七)は開城居住の高運河の所有田にして居里所在の水田二十一斗落を小作しゐたるが大正三年度分の小作米を納入せざりしより舍音なる尹宗石より小作權を取上げられ同里の李昌應が耕作する樣になりたるため之れは同人が中傷したるものと誤信し四月十二日尹が該水田にて耕作中現場に至り口論の末尹を蹴飛ばしたるより尹は畑に水を撒き掛けつゝ逃げんとせしに申は追跡し有合せたる棒にて毆打し左右股部に長さ二寸の裂傷を負はせたる爲め檢擧せられ京城地方法院にて笞九十の處分となりたり

●電車から飛ぶ
鮮婦人の負傷

京城電氣株式會社六十六號電車が九日午前十一時六十分頃東大門より鍾路に向け鍾路通り三丁目を進行中俄かに該電車より飛び下り大地に打倒れたる鮮婦人あり急報に接し鍾路署より係員出張し取調べの結果同女は瑞麟洞徐祥春妻黄姓女(三四)といふものにて左顳顬部に深さ骨に達する打撲傷を負ひたるより取敢ず總督府醫院に擔ぎ込み會社より治療費を支給して目下加療中

●開城郡の大火

京畿道開城郡北面古德里十八統七戶農采仁根(一七)方より五月七日午後一時半頃發火したるが折柄の暴風に煽られ火の手は見る間に擴大し遂に附近二十九戸に延燒して藥舖朝式溫突建五十八坪を烏有に歸したるが此損害見積額一千七百餘圓に歸し同日午後六時十分鎭火したり人畜に死傷なかりしも罹災者中十五戸約五十名は貧民の事とて目下其筋にて救護方法講究中なるが發火の原因は火元なる采仁根宅前の柴垣に接近したる堆肥の上に藁灰を爲したるものより發火して大事に及びたるものなりと

●鷄泥棒捕はる

鎭南浦龍井里井統四戸勞働者張錫念(三二)は勞働者とは名のみ其の實鷄專門の泥棒にて本年二月六日龍岡郡大代面廉砂里吉浦佐一方の鳥舍より雌鷄二羽を窃取したるに味を覺え三月十八日同大頭面岡田捨吉方にて家鴨二羽其他各所より數十羽の鷄を窃取し一羽も殘らず賣飛ばして酒に代へ居たる事發覺し取押へらる

●日本麥酒野遊會 大日本麥酒會社京城出張所にては十一日獎忠壇入口淸水溪畜寶六龐跡にて野遊會を催し市中各取引店員を招待すと

●龍山親和會園遊會 新龍山實業親和會主催の園遊會は十日午前十一時より新龍山幼稚園に集合記念式舉行後孝昌園に於て催せり

●靑葉會春季總會 宮城縣人會なる靑葉會は來る十三日午後四時より大和町二福の居にて春季總會を開く筈なるが會費金一圓五十錢當日持參すべしと

●佐賀鄕友會 佐賀縣友會所屬員各位は來る十三日午後七時より[illegible]松栗樓(元井門)にて開會會費金一圓當日持參の事

灯ともごろ

▲十日の朝總督を南大門驛に見送つた歸りに野田大塊、顏を合せたのが大垣丈夫大每の山口阜天に本社の無佛など云ふ連中合はなければ承知出來ぬといふ駄句り忽ち阜天の發案で早速驛の喫茶店で臨時月並俳句會を開く事になつた席題は總督を送るで第一番に「威風堂々迎ふ青葉や村夫子」と先づ大塊翁が挑めば續いて阜天が「民情視察の山皆青葉哉」▲折りしも驛前のテーブルに村田課長と並んで茶を喫しつゝありし馬詰君も「野には鋤山には青葉民安し」と横槍を入れた俳號はと聞けば未だそんなものは持たぬさと云へば大塊翁それなら東畑が宜らうとの事で忽ち命名式を舉げる▲阜天の「沿道や水足りて芽の寸に伸ぶ」大塊翁の「早乙女の唄や愛吾の聲清き」又「山吹の色に青葉の影冴わね」「阜天」「青葉超ねて大盲鑛山を見る日哉」など次から次に出るが大垣無佛の兩人は一句も出ぬので其間ヽ一して茶代を拂へとの厳命が大塊翁より下りしも阜天の情にて兩人とも其厄より免れたさうだ

□山本条太郎氏の出世物語
來賓を太閤に見立てゝ茶の案内

□生來瞽骨稜々たる山本氏には道樂と名づくべき道樂は一つもない奮闘努力之れ山本氏の道樂であると益田朝吹など云ふ先輩を戴きながら茶味などは藥にしたくも無いのである□其無風流漢の山本氏が一日茶の案内とあつて其常に尊敬する益田朝吹、飯田氏なんど先輩連中を招いた山本の茶會とは偕ても世の中も變れば變るものと何れも好奇の心に驅られつゝ往つた見たは悉く買いたての新物づくめであつて只一つ床の軸物丈が何だか由緒ありげなと見ると太閤のお墨付で其昔太閤が中國征伐より本能寺の變を聞いて上洛を急ぐ途中甚右衛門と云ふ者を召抱へた時のもので「一、米五俵也花隈にて取らせ候者也秀吉」としてある□此の甚右衛門と云ふ男は後に累次出世して遂に大名にまで成り上げた男である態々此の軸物を用ゐた主人の微意は自分を此の甚右衛門に比へ二圓五十錢の辭令より今日までの辭令を渡し呉れた當日の來賓の面々を大閤に見立てたものであつた□其凝つた趣向は頗る來賓の喝采を博し鑿骨稜々の山本氏、たつた一回の茶湯でまんまと及第をしをつた是も畢竟山本氏が爲さとれば止む爲せば必ず人を驚さとれば休せざる負じ魂の一端を窺ふに足るべしだ(終)

胃腸病胃癌の妙藥●村井弦齋先生發見
タコラン湯
需用激增、製藥所新設
藥効確實、診療部開始
●藥價一週分壹圓 二週分壹圓九拾錢●送料六錢 臺灣樺太●壹拾錢●朝鮮支那廿錢
タコラン散 價 十回分貳拾錢 二十八回分五拾錢 六十回分壹圓 送料四錢貳拾錢
東京市小石川下富坂町四十番地 無量壽藥園 電話番町四一三八 振替東京二〇〇一二

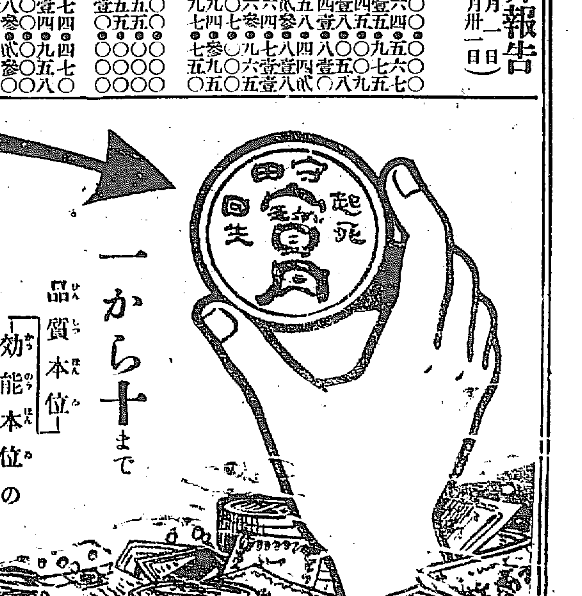
●齒科開業
今般左記の所に開業仕り候間一般患者の診療を旨とし及義齒術に從事す
診療 自午前八時 至午後九時
京城南米倉町(朝市場通交番所下)
大正齒科醫院 電話取次七一六番
院主 税所篤彥
齒科醫學士 横矢重包

第九回決算報告
(自大正四年十月一日 至同五年三月卅一日)

貸借對照表

科目	金額
資産之部	
未拂込株金	八貳五、〇〇〇・〇〇〇
商標權	五二、七六四・五六七
土地建物	壹壹壹、六壹五・九七五
機械器具及什器	參四、貳四五・〇〇九
葉貯	六五、八壹八・〇五八
材料品及未成品	五九、六四壹・八壹〇
製品及半製品	壹五、九五八・四四貳
供託金及假拂金	壹壹、九貳參・八壹八
賣掛金	五四、〇六四・七壹壹
請取手形	八、參六參・九六五
有價證券	參、四〇七・〇〇〇
銀行預金及現金	八九四・參九五
計	壹、貳四參、六九七・七五〇
負債之部	
株金	壹、壹〇〇、〇〇〇・〇〇〇
法定積立金	壹五五・〇〇〇
別途積立金	壹五五・〇〇〇
減價償却費	四、四壹〇・〇〇〇
當座借越及借入金	八八、五七四・四七〇
買掛金	九、參壹四・九五八
支拂手形	貳〇、〇〇〇・〇〇〇
假受金	壹、壹八參・貳參〇
未拂金	參壹貳・九四〇
社員身元保證金	六八六・壹壹五
京城支店	五參八・貳貳四
當期利益金及前期繰越金	壹八、參六八・八壹參
計	壹、貳四參、六九七・七五〇
當期利益金及前期繰越金	壹八、參六八・八壹參
内 法定積立金	八〇〇・〇〇〇
別途積立金	壹、六〇〇・〇〇〇
減損償却費	壹、六〇〇・〇〇〇
配當金(年六朱)	八、貳五〇・〇〇〇
役員賞與金	壹、五〇〇・〇〇〇
後期繰越金	四、六壹八・八壹參

右之通候也
大正五年四月
朝鮮煙草株式會社
監査役山口恒太郎氏任期滿了ニ付再選ノ結果重任セリ


一から十まで 品質本位 効能本位の
守田寶丹は
一時的流行嗜好を顧みず
自重せる藥材の精選と自信ある偉大の効能を有するが爲め
……期せずして……
各位の信用益々厚く
完全無二の懷中良藥として
……到る處に……
聲望益々高し

家庭に旅行 は言ふ迄もなく外出の折人込へ行く時、食後の不快、又は深夜の急病に醫者の來る迄の應急用にも
年中守田寶丹を懷中し、いざといふ場合の服用は勿論平常も朝夕服用せば年中無病の人たるべし

主効
●日射病 ●氣附毒消 ●吐瀉霍亂 ●頭痛眩暈 ●疫病豫防
●下痢泄瀉 ●船車酒の醉 ●中暑水傷 ●胸痛腹痛 ●過食過飲

定價 金十錢 金二十錢 金三十錢 金五十錢 金一圓
金三十錢以上には優美なる寶丹皿を添ふ

ニセモノあり池ノ端仲町二十七號地に御注意
寶丹 寶丹錠 本舖 守田治兵衛
東京市下谷池之端仲町廿七號地 振替東京二九八五番
(全國到る處の藥店にて販賣なす)

京城の城壁 (10)

土木局技師 鈴木坂鐵氏談

自分は數年前に前後二回の城壁巡りを試みたが其の後一向登つたとが無い、這回は久しぶりに團隊に加はつて登つて見ようと思ふ、初め自分が一周した時分も度々朝鮮人の巡遊者に出會つたが路は非常に狹かつたやうに記憶する、聞くところに據れば朝鮮ではむかしから怯麽傳説がある それは

朝早く起きて鍾路から發足し城壁を一周して日暮れ前に再び鍾路に歸ると總ての願ひ事が叶ふといふのだ相な、自分は別に願ひ事もなかつたが飄然洋杖を手にして歩いて見るとなか／＼愉快であつた、併し自分はたゞ散歩がてらに歩いたに過ぎないのでさて開き直つて土木建築の方から城壁を研究せよといはれても突嗟の場合一向用意が無いので困る次第であるが只今のところ實は餘りよく記憶して居ない、併し自分が今思ひ出す點だけを擧げて見ると第一に城壁に就いて考へるのは其の石垣の疊み方である、普通われ／＼が日本内地の城塀などで見る疊石法は先づ五角型の谷積といふのが多い、即ち四角な切り石を菱形にして積みあげた石垣である、然るに京城の城壁ではわれ／＼が布積と稱する積み方を專ら用ゐて居る、布積みは石を平たく並行にならべる積み方で頗る容易な疊石法である、何故かといへば谷積にはいろ／＼玄翁などを使はねばならぬが布積ならば別にさう石材の角を缺ぐこともいらず猶ほいろ／＼の手數が省ける、それに自分の面白く感じたのは石垣の間に石灰を用ゐてある事だがこれは矢張り現今のセメント代りに用ゐたので昔の工事としては進歩したやり方だと思ふ

明けば支那の萬里の長城などにも石垣の間に石灰を用ゐて居るといふ事だがこれなども大に注意すべきことであらう、併し自分等の如き歴史上の門外漢にはそれが果して築城の時に用ゐられたのか又は後代修築の際に用ゐられたのか確かな事が斷言されぬのを頗る遺憾とする次第である、殊に石灰があまり古くないところを見ると或は後代のものかも知れない、石灰は光熙門あたりに多く見受けるが猶ほ水原の華虹門にも石灰を用ゐて居る、また城壁の石材は殆んど普花崗岩であるが其の中でも場所によつて質の異つた箇所がある、先日來歴史家のおはなしでは築城の當時各郡の民夫が區劃を定めて工事を分擔したとあるから或は怯麽關係上石材まで異つたものを用ゐたかも知れない、次に京城々壁の石材は其の基底に於て稍々巨大なるものもあるが上には小型の石材が多いやうである、それでも現代の工事から云へば勿體ない程な巨石を用ゐて居る、當年築城の當時は隨分巨費を要したとであらう、知つての通り石材とか砂利とかいふものは其の元の石山では殆んど無價同様のものであるけれども其の運搬賃によつて高價となる譯で京城々廓をこれだけに築造するのには果して

何處から石材を運んだ　それは歴史家に尋ねて見たいと思ふ

殊に淺見高等法院判事や鮎貝房之進氏のお説の如くむかし漢城の地が風水説によつて國都に定められたとすれば此の附近の石山を切り崩して大切な地相を變化させるといふやうなことは極めて大事件の禁物であつたから到底那麽ことをやり得る筈がないのである、現に鮮人は鐵道工事の隧道さへも地相が惡くなつては一大事だといふので抗議を申込むだものである、されば當時京城四里の城壁に用ゐた石材は蓋し非常な勞力を費して居るものでおまけにそれが木覓山の南山や仁王山白岳の絶巓まで

築きあげるといふのだから實に今日では莫迦氣て能きがたい仕事である、普通荷車などを牽く力は高さ一尺の處へ引きあげるのと平地で二十尺に牽く力とが同じ割合になつて居る、だから高さ百尺の場所ならば平地で二千尺の處へ運ぶ力と等しくならねばならぬ、是に依つて見れば彼の仁王山や白岳山上に築城したのは蓋し非常な勞力を費したものである、また近頃の工事では假令外觀が綺麗であつても石垣などがよく崩壞することがあるがむかしの城壁などは石垣の間に觸が潛りこみ蛇が拔け出してもなか／＼壞れぬ、これはつまり時間と勞力とを吝まず充分工費をかけて築いたのと一方は經費に制限されるからであらう

十一、十二の三日間特別大祭を施行し十三日より普通祭の神輿渡御ある筈なるが同社內にては神事能を催す計[illegible]

●私通こ脅喝こ

京畿道抱川郡西面仙珊里朴泰元(?)は大正四年[illegible]者が同里の石崎村木店の林木運搬中[illegible]其幾分を竊取したるを聞知し千李を[illegible]恐喝して金二十圓を受取りたるため[illegible]

[illegible]留太郎(三)岩永作次(四)原勘次郎(五)寺坂藤太郎(六)田島金藏(三)瀧[illegible]

●連絡船上陸客

九日午前[illegible]

●大禮謹寫盛況

▲大田座にて開催

京城日報社及び毎日申報社大田支局主催の御大禮活動寫眞謹寫は九日午後八時より大田座に於て開催十一時散會したるが當夜は滿場立錐の餘地なき盛況なりき十日は午後二時より大田小學校に於て五百餘名の兒童に觀覽せしめ夜は八時より大田座に於て再び一般讀者の觀覽に供したり(大田電話)

●新龍山幼稚園

私立新龍山幼稚園は大正三年創立し附近の兒童約三十名内外を收容し來りしも今後陸軍官舍及び鐵道官舍居住の兒童を收容するとせば到底現在の儘にては狹隘なるを以て園主石原磯次郎氏は同地二三の有志者と協議し本月十日前記幼稚園の一週年記念式を擧行し有志者より約二千圓の寄附金を募集し漢江通に約百名を收容し得る園舍を新築せんと目下準備著手中なりと

●娼妓の部屋に忍び入る

全南濟州島生れ京城新町遊廓新町樓事徐原方雇人金熙(三)は五月三日午後三時頃同樓抱娼妓菊江事孫分業の不在に乘じ同人の部屋に忍び入り金巾製女周衣一枚外一點(三圓七十錢)を竊取し即日初音町の質屋に一圓二十錢に入質したる爲め本町署に引致さる

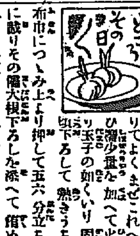
演藝

▲大正館 ○○○ 十一日より特別興行として全部の差替を爲し最新フヰルムを提供したるが其の主なるものは左の如くなるが特に新派悲劇寺馬場の仇討は呼物となり居れり △實寫活動寫眞製造の實況△尚穩亞佛利加土產△嘉西奇談花盛り全二千五百呎△實寫巴里の百景△新派悲劇寺馬場敵討全四卷百十四場

▲御成座 ○○○ 舊劇阪東鶴蔵一座にて十一日夜の出し物は、前狂言肥後駒下駄切狂言傾城嫗山姥

▲浪花館 ○○○ 浪花節廣澤千代女一行にて開演千代女の聲のある然して節廻しに巧みな語り口が評判よく別看板の廣澤寅吉の重味ある語り振りと共に評判となり居れり

だいどころ その日／＼



○しめ玉子 鍋へ玉子を割りてよくまぜこれへ煮出し汁又は淵少量を加へて火にかけ箸にて玉子の如くいり固りかけし時下ろして熱きうちに新しき布巾につゝみ上より押して五六分立ちし頃適宜に截りその端大根下ろしを添へて衝めても鍋ちひてもよろしうございます

京城日報毎日申報各支局主催

御大典活動寫眞

■大田(九、十日晝夜 十一日晝夜) ■仁川(十二日晝夜 十三日晝夜) ■大邱(十四、十五、十六日晝夜) ■釜山(十七、十八、十九日晝夜)

京城日報、毎日申報の現購讀者は各等三割引のみならず同時に二等入場券四枚購入の方には御希望に應じ兩紙の中一つを一箇月間無代進呈

活動寫眞謹寫巡業日程

■大田―大田座―(晝間午後一時より 夜間午後七時より) 番外實寫物―滑稽物―西洋奇術

主催京城日報、毎日申報大田一手販賣所小倉新聞舖

商況

東京株式特電

十日 前場寄付 大引

銘柄	前場寄付	大引
日本郵船	二〇〇、八〇	二〇一、〇〇
京城電氣	一〇六、一〇	一〇六、七〇
同	一四四、八〇	一四四、一〇
鐘紡	……	……
新株	……	……
同	……	……
日本郵	……	……
東株第一	……	……
東新第二	……	……
東新第一	……	……
東新第二	……	……

債券現物特電

十日川東債(前日との比較)

銘柄	價
東洋拓殖	六四、〇〇
京城電氣	五四、〇〇
朝鮮銀行	一四八、五〇
朝鮮瓦斯	一一五、二〇
南滿鐵道	一四四、五〇

公債直取引

十日川東值段(前日との比較)

銘柄	價
五分特別	八二、三〇
五分利公債	八一、一〇
一回四分	九六、一〇
二回四分	……
甲五分	……

深川在米特電

十日現在高

銘柄	價
朝鮮米	九九、六二九
肥後米	八〇、三四九
内地米	二〇、六五八

東京期米特電

大阪期米特電

十日前場

限月	寄付	後場
當限	一五、〇六	[illegible]
七月限	一五、三三	[illegible]
先限	一五、三一	[illegible]

大阪株式特電

限	前場寄付	後場
當限寄付	一四四、〇	[illegible]
中限寄付	一四九、八	め止
先限寄付	一五四、七	[illegible]

大阪三品特電

九日後場

下關期米特電

雜報

●銑鐵益々强硬

●鐵板更に小締る

●引締一二三圓方

●工業藥品奔落

●平板ヂリ安

●又々一錢方引弛

●燐寸引下げ

●協定値段引下ぐ

●内決

●晒金巾ヂリ高

●十二圓二十錢高

●牛皮依然元逸り

●府地正米引締む

●高値尚貴米潜約二十錢

●精米値上げ

上三十錢方の値

下關相場

仁川米豆取引所仲買人 まるみち 日 仲買店 支配人土居勝 電話二八三番

京城正米

▲新潟... 南大門の廻穀

京城雜穀

約二十錢高

仁川現物市場

生魚市場

仁川期米

十日前場

大阪四節四十一錢と安移

十五錢と高移 大阪九節五 十一錢と上伸

前後新高値

市場雜聞

▲中限の混戰

▲人氣の動搖甚し

●正米の好況

人氣動搖す

行賀仲買店

▲鞘益擴大す

迄擴大二十七錢鞘

漸次鞘擴大

値の新しき丈賣り一見十二圓臺

感じある

▲遂に上伸れず

大上鞘を買

硬派理想先高

着々に實に顯はる

仁川米豆取引所

十日の七月限

	寄付	止め	高値	安値	出來
一節	十二圓十八錢				
二節	十二圓十一錢				
三節	十二圓六錢				
四節	十二圓七錢				
五節	十二圓一錢				

賣買取組高

限月	前場	後場	前日と比較
五月限	二三千四百石	[illegible]	三高
六月限	二萬七千石	[illegible]	四高
七月限	二萬千三百石	[illegible]	三高

北濱だより

▲鐘紡は增配

▲宇治電

演藝案内

黄金館 黄金町四丁目 電話二六三七

浪花館 明治町 電話二六〇番

大正館 櫻井町 電話八七三

壽館 壽町 電話一〇五〇

壽座 本町 電話五七八

御成座 御成町 電話二九一

三府合同歌舞伎 市川海老松 阪本龜鶴 大一座

前狂言 荒木作肥後駒下駄 切狂言 傾城嫗山姥

滿蒙處分論 定價金一圓 京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇番

醫化學諸器械一式

北島藥店 仁川本町 電話三三四 振替京城六七番

北島藥店京城支店 京城本町永樂町角 電話七六一番

藥種賣藥卸商

Ⓚ

生殖器障害の一色

生殖器の外形が人並でなく發育不完全で包莖とか短小の人も又本能に於て陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不完、交接不快、美減退、腦神經衰弱等の人も自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器を使用する時は一回毎に効力が現はれ豫想外の偉効に驚くべく知名博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讃が如し詳細はハガキで申込あれ圖入説明書無代寄送す ▲高評を得るに從ひ僞物有體戒せよ

東京神田かぢ町五 電話神田七二二番 東京 眞空療法研究所

蚊帳

メリヤス 毛布

京城本町 呉服店 綿蒲團部 電話一〇九番

熊平謄寫版

熊平支店 京城本町二丁目 長電話六二四番 振替京城三二二番

蠶具

蛾框 蠶紙 其他一式 卸販賣

京釜線大田 東洋蠶業株式會社出張所 東蠶社

優良桑種子大販賣 目錄定價表無代進呈 電話一〇七番 電略トサ 振替京城二二六二番

タオル製造販賣

大 小野タオル製造所 京城青葉町三 電話一五九〇番 振替京城四一一番 (申込ニ依リ印入タオル調進可仕候)

い病で困る人

永年難治の胃病も忽ち効能偉大なる家傳秘方の妙藥あり弘く同病者へ告げ分與す御困難者は往復端書で申越あれ詳報す

兵庫縣美囊郡淡河下村 藤本初三郎

宮本武藏

第三十四回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

嵐榮の門人が騷いで ○「オイ〜〜鈴木そんな事では可かん酷くやられてしまつたな、活は跡廻しにして灸を一つ灸て見る ○「何處へ灸ゑるんだ △「土不踏へ灸たら宜らう」夫からコテ〜〜艾を持つて來て嵐榮の足の裏へ載せて一時に火を付けた、ペット燃出したから堪らない、目を廻して居た覺禪坊ウーンといつて刎起きた 嵐「コレ〜〜オー熱い、何をいたす △「先生お氣が著きましたか 嵐「ア、熱い今の男はどうした ○「貴方が倒れる途端に表へ飛出しました 嵐「ウーム殘念千萬、今日はチト氣分が惡いため何時にない不覺を取つたがモウ何處へか逃てしまつたか ○「逃はいたしません威張つて歸りました 嵐「何しろ殘念千萬、何處の奴だ、何しろ土不踏が酷く痛いがどうしたのだ △「實は活を入れましたがお氣が著きませんから土不踏へ艾をドツサリ灸へましたので 嵐「飛んでもない事をする、道理で熱いと思つた、コレ見ろ足の裏が眞赤になつた ○「エー先生 嵐「何だ ○「アノ表看板が失なつて了ひました 嵐「どうした ○「先刻の男が持つて往たんでございませう 嵐「不埒な奴だ、どうも仕方がない、看板がなくては可かんから早々造らへろ」と又々槍の原板へ筆を執つて「寶藏院流槍術指南 天上天下唯我獨尊覺禪坊嵐榮」と立派に認ためて五六日經つて表へ懸けた、スルト ○「頼む 門「ドーレ」と出て見ると先日の侍、傍「傍若無人の看板を懸け沙汰の限りの馬鹿坊主、今一度立合に參つた早々對手をいたすやう 門「少々お控へなすつて……先生 嵐「何だ 門「先日の侍が參りました 嵐「馬鹿坊主に出ろ〜〜と申しまして 嵐「又來たか、宜し〜〜先日は此方氣分が惡いため不覺を取つた今日は大丈夫だ、先日の恥を雪いで見せる、道場へ通せ 門「畏まりました」門人の案内に從つて道場へ通つた侍、ヌツクと突立つて居る、立出た嵐榮 嵐「サア先日は此方不覺を取つたが今日は初度とは違ふぞ、其心して懸らつしやい 侍「默れ強慢無禮の馬鹿坊主、天下の廣大なるを知らず天上天下唯我獨尊とは何だ、一槍の下に突伏せ看板を持つて往くから左樣心得ろ 嵐「何を小癪な」と覺禪坊槍を取つて立向ふ、侍は槍を中段に取つて互に透體を覗ふ中に大喝一聲突懸つて來た嵐榮の槍、ガラ〜〜ガラと槍搦みをしたかと思ふ中一つ搦んで上へ刎上げ、手許へ飛込んで覺禪坊の胸を突いたから嵐榮ガックリ倒れる、途端に表へ飛出して了つた ○「サア大變だまた、先生目を廻した、今日は艾では可けない、跡で先生叱言をいふから早く水を持つて來て頭から打懸けろ」其から井戸から水を釣瓶で汲んで來て打懸ける、冷たいから覺禪坊飛起きた 嵐「ア、冷たい、參つた ○「先生今頃仰しやつても間に合ひません、對手は疾くに何所かへ往つて了ひました 嵐「モゥ居らんか、看板はどうした △「先生又持つて往きました △「何だと持つて往つたと惡い奴だ、ア、殘念千萬、大變に冷たい ○「先日は熱いと仰しやいましたから、今日は水を懸けましたので 嵐「何で懸けた ○「釣瓶で懸けました 嵐「馬鹿め。大變な事をする道理で冷たいと思つた ○「先生今日はお氣分は惡くなかつたようで…… 嵐「氣分は別に惡くはなかつたが脚氣の氣味で少し膝がガク〜〜してな △「ヘー、先生看板の懸つて居た所に斯樣なものが落ちて居りました、アノ侍が落としたのでせう、嵐「何だ、見せろ」取上げて見ると一枚の紙に墨黑々と書いてある一首の歌、筆も仲々美事でございます、「我身より我身に勝る我身あり其また我に負ける我あり」嵐「何だ之は ○「我々にはサッパリ分りません 嵐「ハテな我身より我身に勝る我身あり其また我に負る我あり、ハ、ア禪家の悟りだな、併し之は何ういふ意味であるか」僧侶ではあるが學問は餘りないから覺禪坊嵐榮一間へ入つて腕を拱ぬいて考へて居りましたが茲に悟道徹底して槍術の玄妙を得るといふお話。

京城大和町三丁目（不老泉湯川端）
中谷 内科 小兒科 醫院
電話一〇三三番

五月十二日九星
舊四月十一日己酉
本命四緑 調 定 友引

▲四緑● 口先上手の者多き日 新事見合北方は吉 ▲五黄● 拜まれ迷惑の事有り 新事手控へ又散財を防がるべし ▲六白● 平運の日 新事手控常の事は吉 小兒衛生注意 ▲七赤● 損失を生ぜんとす 新事手控萬事は吉 買物に用心せらるべし ▲八白● 女難に用心の日 新事手控萬事は吉 萬可噂にせらるべし ▲九紫● 大吉の日 ふと文身出世の道に出づ 萬事で吉 待人來る 旅行入學名誉より來る ▲一白● 氣配よき日 轉居旅行入學名取り 萬吉 ▲二黑● 尼介事

● 無量壽樂園の大發展 東京小石川區下富坂町廿番地同園にては村井弦齋先生の発見胃腸薬ゲンノシヨウコ等近來盛んに製薬し目下大規模の製藥所を設けたり と今回新に診療所及大規模の製藥所を設けたりと

● ロート目藥の盛況 有名なる山田安民藥房より發賣する井上博士のロート目藥は博士が多年其東京眼科病院長として實驗の結果なる公に發表したもので其品質より附屬品に至る迄精良を極めたれば從來各所の賛評日に月に高まりつゝありしが今回の歐洲大戰に付き海外の需要頓に劇增し非常の盛況を極めつゝありと云ふ

りん病
消渇で困る方 多年の慢性も治す
自宅にて人知れず安全秘密に治す良藥あり只一劑を試よ切手三錢送れ其良藥と自宅療法の詳細を報す
名古屋市南かじや町 武藤龜吉

クスリはホシ 外國藥四十餘種 各地藥店にあり
▲淋病▲消渇 ホシゴノール
定價 二十錢、卅五錢 五十五錢、一圓

花笑ひ鳥謳ふ春も……悲歎の涙に暮る、

腦病神經衰弱患者に告ぐ

■春は腦に惡い時機

木の芽の萌え出る時分から花見分新緑の滿らんとする頃へ掛けて、健康な人でも逆上せ易いが、腦の弱い人は兎角過敏になり過ぎて腦に異常を起し易い。時候が既に腦病を起し易い上に學生諸君は進級試驗、卒業試驗扨は入學試驗の準備と非常に腦を過勞した揚句は忽ち神經衰弱に罹るのが常である。其他事務に忙殺さるゝ人、事業の不如意な人、失意の人、大酒の人、病身の人杯は最も注意を要する時である。怖る可き病氣は神經衰弱である。攝生療養を忽にすると終生ぶら〜〜して不幸を歎ずる樣になる。

■腦病は自覺せねばならぬ

齒痛とか腹痛とかの場合は痛みが激しいから打捨て置かず直に治療に手を盡すが、腦病＝腦神經衰弱となると容易に自分で分らない。學生諸君杯は一心不亂に讀書に耽つたり暗記に腦を勞らせたりして、無中に勉強しても少しも頭へ這入らない、已に腦病に罹つて居り乍ら、自覺しないで非常に重くなつてから、どうにもかうにも腦が馬鹿の樣になつてから腦が少し變でないかと他人から注意されて氣が付く、そんな時は既に重い時である。

■腦神經衰弱の特徴

自分で健康だと信じてゐる人でも絶えず注意して見ると存外自分も既に腦病神經衰弱症の仲間入をしてゐる事が解る。什麼して自覺すればよい歟。左の十項に相當する一項でもあれば決して怨せに出來ない。重くならぬ裡に手を盡さねばならぬ。

一、腦に何か重い者を被つた樣な心地のする時、紙を頭に貼り附けた樣で又壓迫られるやうな時。
二、時々眩暈や頭痛を覺ゆる時。
三、記憶力が減退して人の名前杯が急に想出せない、注意力の集中が鈍くなつて何事も頭へ止らない、本や新聞を何度讀んでも空讀ばかりする、字を書いても脫字許りする樣な時。
四、晝の中は仕事に飽き易く直に眠氣を催しながら、夜床の中へ這入ると眼が冴えて眠れない、偶寢ても惡夢許り見て起ると疲勞を覺える時。
五、詰らぬ事に非常な心配をする、其心配たるや芽から芽が生えて停止する處を知らない、甚しくなると恐怖心が非常に高まつて來てポストへ葉書を入れても又暫時よう立去らない樣な人もある、現在自分が入れたのも疑ふ。
六、仕事に直に倦み疲れる、氣許りイラ〜〜して少しも捗ない、非常に無精になる、氣が短くなる。
七、一寸した事に動悸がうち、手の振顫る人もあれば顏の肉のピク〜〜動く人がある。
八、喜怒哀樂の感情が無暗に高まつて、嫉妬心や猜疑心が劇くなる
九、前途に對して非常に悲觀に陷り絶對に自ら信ずる力が薄くなる
十、食慾が進まず、元氣がなく、物事を實行する勇氣がない。

また此外に色々な徴候があるが右に記したのは最も起り易き現象である

■怖る可き不眠の害

動物試驗で犬に數日間絶對に睡眠の出來ない樣にすると、餘程狂的狀態になつて來る、人間も數日間殆ど眠らないでゐると精神狀態に餘程變化を及ぼす、其も身體健康の者は兎に角、肉體の弱い人だと特に精神が冒され易い。であるから神經衰弱に罹つて不眠の人は精神も肉體も極度迄虐待される譯で人間として生存の價値が殆ど零であると言つてもよい天下是程氣の毒な事はないのである

■已に腦病に罹つたらどうするか

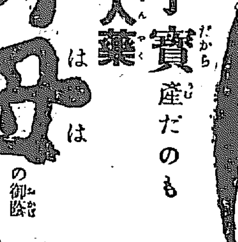
既に不幸な腦病である事を自覺した曉には身體の營養を高める樣に氣を就けるがよい、そして服藥を等閑にする事は出來ぬ。世間では氣から起るのだから氣の持樣一つで全快する抔と云ふ人もあるが病人は氣に懸けぬ樣と言ひ聞かしても中々効のあるものでない。今日本で最も有効な腦病神經衰弱症の特効藥は丹平商會發賣の健腦丸である、健腦丸を常用して一方日々の衛生に注意する時は今述べた種々の惡徴候は自然と消滅して記憶力を增進し頭腦は明断となり、且つ中風卒中の如き危險病を未發に豫防する偉効がある。醫學界の權威島村博士は本劑に對して有効の裏書をせられたる最良藥である。藥價は四回分廿錢より十週分五圓迄あつて、丹平の『健腦丸』とさへ言ふて買に行けば日本全國は愚か海外到る處の藥店に販賣してゐる。

芽立時と胃病

サテ芽立時になりました、草も木もニョキ〜〜芽を出します時には、胃病の芽も持ち上げます、ソコへ五月節句の菱餅でも召上れば尚更である一口に胃病と申しても、種々ありますが普通人間の一食は、健康な胃を有つた人で五時間乃至七時間かゝれば其が消化して胃が空虚になり胃を洗つても何も出て來ないが、若此時間より數時間後れて胃を洗つて見た際、尚ほ先きに食べた物の殘りが洗ひ出されますのは是を胃アトニーと言ひ、食後二十四時間を過ぎて、胃を洗つた液に食べた物か混じつて來れば胃擴張となるのです其他捨て置けば色々の重症になりますから、ハテ胃が惡ひなと合點された時には、ソレ直ぐに五大軍醫の合議製藥評判の胃活を召し上れ

溜飲、胃弱、慢性胃弱
胃加答兒、胃痛、胃痙
食慾不進、胸痞

胃病良藥



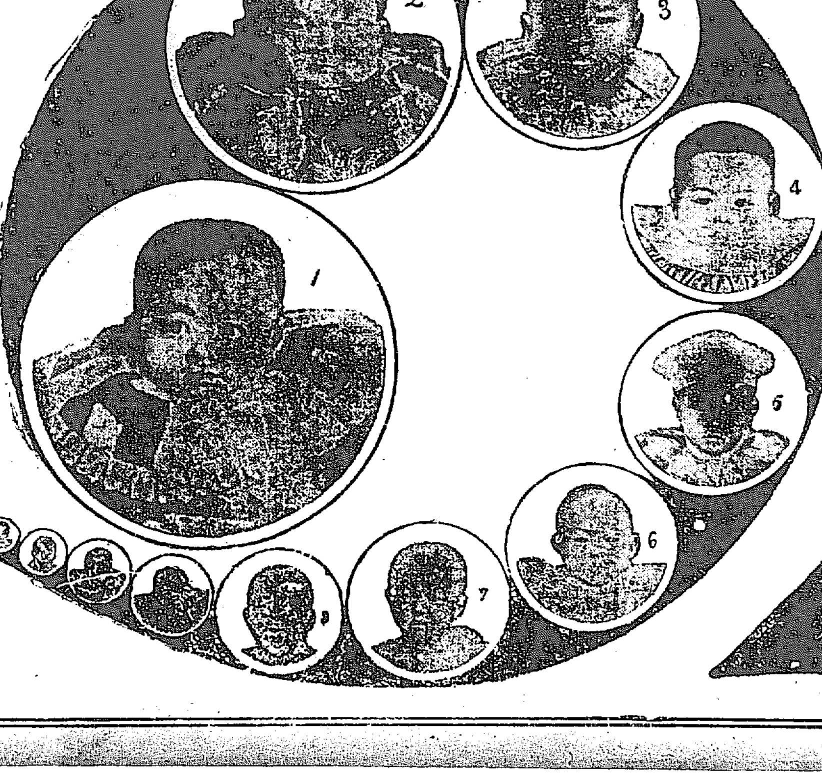
宿醉、惡心、嘔吐、呑酸、嘈囃、腹滿、食傷、子供乳吐等無二の効有
陸海軍五大醫合議製劑

注意
(一)藥は必ず思ひ立たる時買ひ給へ！
(二)藥は可成高き物を買給へ！
(三)藥は病の輕き間に買ひ給へ！

胃活 一圓、六十五錢、四十五錢、二十五錢
胃活錠 一圓、五十錢、廿錢

●全國到處及海外要處の各藥店にあり

本舖 東京日本橋區本銀町 山田安民藥房
發賣元 大阪東區南久寶寺町 山田安民藥房



可愛い子寶産だのも
第一等の婦人藥
命の母の御蔭なり

女のやまひの方々は早く召されよ此靈藥を！

藥價表
貳日分廿五錢
七日分八十錢
二週分一圓五十錢
五週分三圓
十週分五圓
此外加減命の母藥價は約二割增

萬國到る處の有名藥店にて販賣す時に品切の節は直接本舖へ申込めば直送す

婦人科專門醫學士佐藤北畠西牧先生著
婦人病者心得 ハガキで申込めば進呈す

コンナ容體の人
●白帶下ながい血に苦しむ人 ●卵巢炎、輸卵管炎の人
●脚腰冷えて頭痛する人 ●浮腫痺れ疝氣の人
●子宮病にて下腹の痛む人 ●腦神經衰弱の人
●逆上にて脊肩のこる人 ●貧血顏色惡き人
●ヒステリー血の道の人 ●頭痛眩暈に苦む人
●月經滯り或は不順の人 ●難産より心悸亢進の人
●つわり又胸先へ差込む人 ●安産肥立ちを望む人

最近實例の一班
(1)神戸市元町三 弓張文平 (2)長州萩町小畑 齋藤氏愛兒 (3)高松市福田町 川口文代 (4)高知縣高岡郡四村 櫛原治美 …以下略す

本舖 東京京橋區新榮町四丁目
電話京橋二〇二一番 振替東京五〇五〇番
笹岡省三藥房
大阪市北區本庄中野町四五七
電話東二二三番 振替大阪三二八〇番

京城日報　第三版

京城日報　精神的教育

此度の歐洲大戰役は、獨り軍事上に於ける、空前の大事たり、大經驗たるのみならず、遂に社會組織の根源たる、國民教育上の大問題を溯起し來り、昨今英佛諸國教育家中、其倫理道德の根本原則をも、一新せざるべからざるを主張するもの、甚だ多きことを見る。

英佛教育家の、今日翕然として、之を改めざる可らずと爲す所のものは、從來の個人主義の教育法なり、個人の自由と利益とを基礎と爲し、自重平等を以て、天則と爲すとは、實に個人の本領にして、之れに據りて人文の發達進歩を、贏ち得たるもの、あるや。論なしと雖も、此個人主義に、幾多の長處あると同時に、其の短處亦甚だ多きを知らざる可らず、特に國家有事の日に當りては、個人各々利己主義を取りて動かずんば其事必ず敗る、是れ英佛教育家の、此に悟りて國家主義の教育法を取るべしと爲すに至れる次第なり。

夫れ人類は、國家を成すに依りて其生存を全くす、個人が國家の爲めに存在するか、國家が個人の爲めに存在するか、國家を一の有機體と見る以上は、個人は國家の爲めに存在するものと云はざるべからずして、個々人々國家を以て心と爲し、國家の爲めに其身命を致すを辭すべからず、個人固より個人心を有すると同時に、國家心卽ち國體意思を具ふ、此心全く此意思強きものは則ち、文明富強なるを得べく、内外有事の日に當りて、能く艱苦を凌いで其存在を主張する所以のもの、實に此に存す、近年社會學者、專ら社會心理を紹述し、政治學者盛に國民意思を說くの根據亦此にあり。

近頃世間或は國家的教育としては獨逸を學ばざるべからずと爲すもの、あり、其說に曰く、獨逸が一昨年來列國の重圍の中に陷りて、猶ほ能く力戰奮鬪屈せず、軍事經濟の施設整然として見るべきものあるは、一に其國家主義教育の致す所にして、敵ながら感服の外なし、是れ英國人の最も之を學ばむと欲する所以なりと、然り英國人のごとく、古來個人主義に耽け居るものには、正しく是れ、對症の藥法たり、倫理教育に敵味方あるべからず、苟も學ぶべき所ありとせば、其の獨逸に出で、墺地利に起るを問ふを用ゐざるなり、併ながら、其の所謂國家主義教育なるものは、豈必ずしも獨逸人の發明たり、專占たりと云はむや、我大日本帝國の國體は、則ち純乎たる國家主義にして、上に萬世一系の皇室を戴き、國民義勇奉公、君國の爲めに身命を捧ぐるを辭せず、卽ち之れ國家主義の醇の又醇なるものなり、只我商工業農業等は、其組織も、工作も、共に未だ能く其至處に至らざるものありと雖も、其精神は、既に存す、其形體を整ふるは、決して難しとせざるなり、英佛諸國民皆其教育の主義と、形體とを併せて、改更すべしと爲す、然れども我は其精神既に存す、其外形と枝葉とを全くするに努むべきのみ。

蠶業發達の歩趨

四年中の蠶種製造額　優良蠶種の激增

昨年の蠶種製造業者總數は四萬八千六十三名を算し蠶種の製造額は内地種三十萬六千百二十七枚、在來種二萬九千十七枚、合計三十三萬五千百四十四枚にして、之を大正三年に比すれば製造者數に於て一萬三千九十五名を減じ、製種額に於て内地種十三萬九千九百三十二枚を增せるも在來種一萬七千六百十三枚を減少せるを以て結局十二萬二千三百十九枚卽ち五割七分の增加となれり、今之を製造の目的に依りて配付用、販賣用及び自家用の三種に區別し其の製造狀況を略述せば左の如し

△配付用蠶種　は各種の農蠶業獎勵機關に於て製造せる内地種にして主として一般養蠶家に配付せらるゝものとす、從來之等の機關に於ける蠶種製造は單に生徒の實習用として行ひたるに過ぎざりしが近來内地蠶種の需用激增せるも之が供給の途未だ充分備はらざるを以て應急策として各機關とも其の製造に努めたる結果大正四年には其の製造箇所百三箇所、製種額十二萬一千五十八枚を算し大正三年に比し箇所數に於て一割一分、製種額に於て一割五分の增加を示すに至れり

△販賣用蠶種　は蠶種製造業者の製造に係る内地種にして一般に廣く販賣せらるゝものとす、從來朝鮮に於ては養蠶家各自に蠶種を製造し之を自家用に供する習慣なりしが故に販賣用の目的を以て蠶種の製造に從事する者絕ゑてなかりしが先年來極力斯業の振興に努めたる結果、大正四年には其製造者數百九十八名、製種額十一萬一千六百六十五枚を算し、大正三年に比すれば製造者數に於て二十六割、製種額に於て三十四割四分の劇增を示せり

△自家用蠶種　は養蠶家各自が自家用の目的を以て製造せる蠶種にして内地種及び在來種の二種あり之等の蠶種は内地種たると在來種たるとを問はず其實質に於て配付用又は販賣用蠶種に比し少なからざる遜色あるを以て先年來各地方共に農産業獎勵機關並に蠶種製造業者をして善良なる蠶種の供給に努めしめ一面自家用蠶種の製造を廢止せしむることに努力せる結果、大正四年には其製造者數四萬七千七百六十一名、製種額内地種二萬三千二百四枚、在來種二萬九千十七枚、合計五萬二千二百二十一枚に減じ大正三年に比し製造者數に於て二割二分、製種額に於て二割四分の減少を示せり

△今後の注意　斯の如く配付用蠶種及び販賣用蠶種の製造は異常の勢を以て進み自家用蠶種の製造は反之著しく衰頽せるは實に朝鮮蠶業界の一進歩にして最も喜ぶ可き事なり然るに地方の製種狀況を見るに今尙自家用蠶種製造額の多數を占むる地方若くは販賣用蠶種の製造極めて微々たる地方ありて未だ優良なる内地蠶種の生産は朝鮮全土の需用を滿たすに至らず、内地より若干の輸入を仰がざるべからざるの狀況に在るを以て今後速に自家用蠶種の製造を廢止せしめ移入蠶種の防遏を期すると共に更に販賣用蠶種製造業の堅實なる發達を圖ることに努めざる可らずと當局者は云へり

東都短信　高賀生

編輯局諸賢　麴町中六番町なる留學生監督部を訪ふ。新らしき朝鮮を指導す可く造就せられつゝある彼等が、如何に生活し、陶冶せらるゝかを見んが爲めなり。監督荒木氏は、老來、意氣益健、所謂「父母の心を以て」六百の子弟に臨み、撫育至らざるなし。

▼邸は、元、某侯の下屋敷にて、後久しく朝鮮公使館たりしもの、今の事務室は、當時公使の居間なりしといふ、後庭の楓樹の若葉、椿の殘花火の如きに映ずるほとり、寄宿舍生のテニスに興ずる聲高し。

▼寄宿舍は、約六十名を容るゝに足り、目下收容するもの五十名、一日廿三錢の舍費を以て、食事、室代、電燈、入浴等一切を支辨す。東京に於て、斯の如く廉價にして、淸楚なる寄宿舍は他に比を見ずといふ。彼等が如何に愉快に如何に希望に充ちつゝ勉學せるかは、更めて、報ずるところあらん。

▼今、編輯局は、本月の中央公論誌上に發表せられたる某女の中央新聞社長吉植庄一郎氏に與ふるの書によりて、忙中の閑話を見出しつゝあり。蘇峰先生曰く、世に女ほど怖ろしきものなし、文豪カアライルの傳の如きも、初めクロードによりて、ものせられたるが、後、カアライル夫人の抗議的說明を參酌して、ノルトンにより新たに編まるゝを見たり。女の一言によりて、男子一代の事蹟の色彩を變更せらるゝこと、稀に非ずと。（五日午後國民新聞編輯局にて）

大阪だより　大阪每局にて　中谷 靑霞

○春漸く既れ若葉の夏は次第に色濃くなり來れり、風戀る浪花の夜もやがて到らん、時の流るゝこと實に迅かなり。

○泡沫會社にして例の空中樓閣的目論見書と夢幻誇大妄想狂式の趣旨書により大々的廣告をなして皮の厚き人を釣らんとするもの尠なからず、其の内容を識りつゝ、又引受くる現物屋あり、斯の如きが我事業界の實勢ならば芦原將軍も亦世界の大事業家經綸家ならざるべからず

○藥品市價暴落、一時工業藥品の市價を無闇と釣り上げたる結果硝子石鹼製紙硝子事業等の休業又は操業短縮を餘儀なくせしめ一般需要激減の爲めとは自業自得、酬いは覿面

○市川左團次浪花座出勤の爲め七年振りにて來阪劇界を避けて永井荷風君の結婚談を吹聽に及ぶ、曰く久しく短篇に消息を洩しつゝあつた新橋の八重次と結婚、八百善にて花嫁總に花譜荷風君の歌澤で式を擧ぐと讃美歌や神前の祝詞は既に古し、歌澤とは洒落れたもの哉

○煙の都にある大阪煙草專賣支局にて昨年度二府三縣十二郡三十六人の元賣捌に賣渡したる總額九百七十九萬七百三十一圓、一昨年度に比して三十餘萬圓の減額、農村の困憊に原因すと「烟立つ民の竈」の御製を想はずんばあらず米價の調節其れ如何

○近時商工業界の發展期に際し思惑屋の破綻頻出せんとするは痛嘆に堪へず、染料紙類藥品の一時輸入杜絕原料不足の聲に暴騰を現出するや、日用品まで思惑をなせしもの等その投機的に買煽れるもの時局關係なきに過ぎず、忽ち需要激減在品堆積を來たして急轉直下遂に破綻に瀕する不合理なる騰貴は實に槿花一朝の榮下落に會せるは自業自得の結果といふべし

○一時思惑の中心たりし染料アニリンの如き前年期に比し十四萬五千斤の輸入激增にて而もそれが九割迄取引不能の獨逸本場品なるに至つては流石の思惑師も面喰はざるべからず

○製紙原料パルプも亦六百五十萬斤の入增、輸出禁止以來の瑞典本場品が續々來るには驚かざるを得ず

○大阪の閨秀畫家島成園、松本華羊、吉岡千種、岡本更園の四人三越支店樓上に繪畫展覽會を開けり、成園は「おまん」華羊は「樽屋おせん」千種は「お七」更園は「お夏」と念の入つた繪看板を競ひ居れり、藝術的價値は頗る貧弱にてこんなものが賣れるに世間の廣さを覺ゆ、まだ〳〵内容も技術も磨いてから繪看板はつくべき人々なり、五月蠅きは此の種の女にて帝劇の女優と同じ意味にて迎へられつゝあるにはあらずや、女流畫家もかく早く大家になつては始末に了へず（十日記）

京日詩壇

○奉酬量之侖將之白頭山留別諸友　松田 學鷗

突理征裝快欲呼。看辭濟勝涉崎嶇。敢言秘境搜奇句。待看名山始入圖。虎吼樹陰雲作幕。龍潜淵底月浮珠。行路宿深護叢。夙志何辭役老軀。

○次韻送別　富澤 雲堂

竹杖一片性靈能絕去塵埃徑。節入陽春鳥語呼。吟鞋堪涉幾崎嶇。題將警句開天秘。踏遍邊疆上地圖。林壑陰雲生虎穴。夜深潭月弄龍珠。歷覽斷是仙界。只要加餐愛老軀。

○次韻送別　成田 魯石

許日　幽險奇怪之景、寫得深到

壯擧何人快不呼。遂行只怕路崎嶇。須尋猛虎偶入境。時入哀猿叫月圖。鳥道連空近星漢。錦囊採勝盛驪珠。山中說多氛瘴。珍重休忘老軀。

許日　萬山在胸、一心運之、高趁秀拔何等筆力。

○次韻送別　成島 鶴村

登道連天鳥莫呼。欣君蹴雪涉崎嶇。御風之想如驟德。縮地有方可入圖。脚健遍探神秘境。詩成兒比洞光珠。追隨欲訪曾遊跡。奈此塵間拘束軀。

許日　辭氣超越、情意深篤、余避受此佳賜、感謝何堪。

大阪期米指電（十日）　後場寄付十四圓四十七錢　△中限寄付十五圓五十九錢

仁川米豆取引所

△更に昂騰す　受けて存外堅調となり十二圓〇六錢と反りて下たる……より買物

△市場殷賑　市場は盛況を呈し居れり

池の坊流　生花講義錄　短期速成最も容易に習得せしむ師に就て口授を受ると異ならず　合冊附見本進呈（送料二錢郵券を送れ）　東京四谷區須賀町　日本華道會

羽田式バンド　諸機械傳動用　HATA'S BELT　皮革調帶は益々暴騰せり此際定評ある羽田式調帶の御試用を乞ふ　於日本產業博覽會金牌受領　御一報次第定價表及見本送呈仕候　大阪市西區靱北通一丁目　羽田調帶製造所　大阪支店　電話土佐堀三一六七三番・一六七四番　振替貯金大阪二九九八番

明治大學　法科特別校外生募集　○法科特別校外生ニテ本大學法科ノ全學科ヲ修了スル講義録ヲ發行ス○法科講義錄（三年全部）ト內容全ク同一ナル總講義錄ハ毎月一回（毎回四百頁餘）發行、一年ニテ完結ス○月謝ハ一年修了者金一圓十錢、二年修了者金六十錢トス、但減額ノ特例アリ○新年度 四月十日最好機ナリ、希望ノ向ハ規則書ハ申越次第送附ス 至急申込マルヘシ　東京駿河臺　明治大學出版部

スワン萬年ペン　宮內省御用品　本品の眞價は既に社會に定評あり種々の名稱を附したる類似品多し本品の軸部には（SWAN）の英字刻印押捺せり　到る所の文具店に目下競爭販賣中買ふ人の爲な時最寄販賣店に御用命を乞ふ目錄無代進呈　大阪平野町二丁目スワン大阪出張所

生物學と哲學との境　東京帝國大學醫科大學教授　醫學博士 永井潛先生著　菊判七百頁純白總クロース美裝箱入　定價參圓八拾錢送料拾六錢

新刊發賣　性生活と生命研究と自然死　工學士 桝本卯平著（最新刊）　科學の徹と、哲學の鋒と、聳ゆる其間の深い深い谷底に、碧の如き生命の泉が湛ねて居る其處に「物」と「心」が神秘の影を映して居る。「人」と「自然」が……「主觀」と「客觀」が温き握手をして、……此の書を繙いて必ずや裨益する所あるであらう。

時局に放たれ目下世人の注意は歐洲の運用の如何に專ら支那三革命に內部の紛擾を極めは直接日本の責任　四六判布製美裝箱入　定價金壹圓送料六錢

產業帝國主義　東亞前途の栞　本書は東亞の平和を主とし、日支兩國の當に取るべき主義及び方針を示す、著者は曩に昨夏以來再び支那に渡り南方中部及山東の各地を視察し最後に泰山の孔子の文業と始皇の武業との動機を得て產業帝國主義を東亞維新の眞髓となし其所信を世に公にす　發行所 東京市麴町區平河町五丁目 洛陽堂 振替口座東京二〇九一四番　賣捌所 京城大連 大阪屋號 振替京城二五七三 （大）五五五

各病院眼科醫指定眼鏡調製　眼鏡專門　各種 金 銀 赤金 張 レンズ 製作販賣　△定價表を發行致居り候　△眼鏡一式に關する御照會を歡迎す　京城黃金町二丁目 振替京城一一二九 宮川大學堂

京日案內　普通（一回前金三十錢）　番外（一回前金六十錢）　▼申込受付は前日正午迄の事

●朝鮮各道地圖　卅萬分の一　各一道十錢 振替一二二七　京城本町二丁目 電話二五二七番 ツボヤ書店 158

店員入用　年齡十七八歲 本人來談 市內保證人を要す　京城本町一丁目 大阪屋號書店 418

外務員募集　但し市內に相當知己あるもの希望者は直接來店あれ　京城本町二丁目 町田新聞部

雇れ度し　中學卒業數學經濟測量得意 保證金參百圓あり 會社商店會計係に雇れ度し 姓名在社 411

店員入用　十五六歲　京城本町二丁目 龜屋商店 112

△見習看護婦至急採用　希望者本人來談あれ　龍山元町 電話二〇四 渡野病院 409

讓渡　果樹園 城外來梨 桃約千五百本 植付後六年成績頗る佳良 希望者は可成往復端書で照會あれ 姓名在社 404

●暴風警報（仁川觀測所）　△寒冷風強かるべし　△低氣壓の位置……

●明治町フランス教會正門前　ホ子ツギ △うちみくじき治療　●電話二五九五番 荒川仁壽堂 180

旅館讓受たし　京城旭町三丁目山崎 電話一七九七番 176

●諸病院又は患家の御需めに應ず　△京釜看護婦會▼　旭町一丁目 電話二八六三 171

鑛山用機械類並探鑛用品　マグネット新荷着　京城南大門外 電話二九四〇番 京僧商會 417

●造花 ●ロクロ細工物 ●建築ロクロ ●諸車ロクロ製　上山ロクロヤ　京城永樂町二丁目赤門通（電略カミ）408

電話開通一四六二

分析鑛物各種（正確迅速）　朝陽分析所 198

姙婦產婦御相談　△經費僅少出來　△產婆安全出張　京城產婆院　申込次第入院規則書送呈　南山町二の卅五 △電話取次一三三九 411

外務員三名採用　希望者は十一日午後四時來談但要保證人 自轉車所持者に限る 採用者月手當十五圓給し收入は歩合配當　櫻井町二の二三〇 京城教育品取扱所 420

礦物定量分析　京城太平通二ノ二二五 坂元分析所 電話一三四四番 416

●重石水鉛買入　京城瑞麟洞 光化門郵便局（橫川端）大菱商行 電話四八六番 108

外勤社員招聘　經驗有無を問はず 希望者自筆履歷書携帶來談　京城本町二ノ一〇六 太正生命保險京城支部 121

年金恩給類立替短期無保險　融通地方照會あれ迅速詳報　京城武橋町二三番地 電話三三八三番 國江商會 144

酒商に　醬油は內地より直取引 現價返信す三錢切手五枚要　兵庫濱崎 145

三國屋物品紹介所

恩給年金低利長期立替短期無保險 地方在住者不及上京便法あり但短期は特に御相談申上候　京城若草町 西村商會 149

●ほねつぎ うちみ くじき等 一切の治療御依賴に應ず　明治町 柔術道場 150

質開業　完全なる倉庫あり何品にても懇切迅速に取扱申候　明治町二丁目五四（交番所東小路）片山質舖 155

眼鏡專門　各眼病院眼科醫用達　京城黃金町 宮川大學堂 振替京城壹壹貳九 160

本店新製　クリームキヤラメル　大十錢 小五錢　パン元祖木村屋支店　京城永樂町一商品陳列館坂の上　京城明治町 電話二八七〇 178

皮膚病 花柳病 專門　須古醫院 電話二〇二番 196

株　有利にして確實なる ◎公債株 ◎現株賣物あり ◎現物問屋　京城本町二 電話九九三 田中友吉商店 401

特別の利益ある　豆腐屋讓る　南大門通り五 電話二四八二 刀根雜貨店 410

◎袁總統擁護通牒
馮張倪中央政府及び各省に打電

確實なる消息によれば馮國璋は六日南京より鄂府に倪嗣冲を訪ひ更に叙州に張勳を訪ひ時局收拾に關し凝議したる結果三名共飽くまで袁總統を擁護することに決し中央政府及び各省に打電し「飽まで袁總統を擁護す南方獨立省にして是れを肯かざれば武力を以て解決する外途なし」との意味を述べたるが久しく曖昧の態度を持せし馮、張も茲に愈々旗幟を鮮明にしたり(北京特電)

◎留任と裏面の觀測

馮、張、倪の袁總統留任擁護の通牒は之れ明かに袁總統の策略成功せるものにして是れ北方政府が南方に對して最後の强味を示したるものなり只袁總統は是れによりて飽くまで總統たらんと堅き決心を爲すや否やは疑問とするも將來南北媾和開始の際尠なくとも袁總統一身の安全の保障を得るには有利なるべきものと觀測するものあり(北京特電)

◎安東中立宣言申請

東邊一體の形勢漸次險惡の度を加へんとするに依り安東商務總會は革命黨の襲擊を未前に防ぐ爲め中立を宣言するに決し東邊道尹に申請せるが右に付き道尹は目下奉天將軍に電報を以て伺ひ中なり(安東縣特電)

◎獨軍佛の塹壕を奪取

獨軍はヴェルダン方面ミューズ西岸オークール(マランクヤル附近)の南方及び三〇四高地並にテルミッテン山背の南方に在る佛軍塹壕を奪取せり因に佛國公報は佛軍が三〇四高地に對する獨軍一部の攻擊を擊退したりと發表せり(桑港電報)

◎英船擊沈

英國ホワイト、スター汽船會社汽船サイムリック號(一三三七〇噸)は此程獨逸潜航艇の爲めに擊沈せられたりと但し乘組員は全部救助されたるが如し同船は軍需品を積載し居れり(桑港電報)

◎地方長官會議(第一日)

地方長官會議第一日は十日午前十時首相官邸に於て開會首相以下各大臣各省正副參政官小池憲兵司令官列席劈頭大隈首相の訓示武富藏相の演說あり終つて一同午餐の卓を共にし次回以後の協議事項及び統計の改善に就き打合せを爲し午後二時散會したり(東京特電)

▲大隈首相訓示

(前略)締盟各國との交際倍々親善を加ふるに至れるは本大臣深く之れを欣ぶ開戰以來聯合諸國との間には平素隔意なき意思の交歡を行ひ絕へず和衷の關係を保ち今や與國相互の結束極めて緊密にして帝國の國際的地位愈々鞏固を致せるは寔に慶賀に堪へざるところなり隣邦の形勢未だ平定を見るに至らず國情猶騷然たるものあるは深く遺憾とするところなり帝國が常に專心極東永遠の平和を念とし之れを對外政策の基礎とし始終渝らざるは歷史の證明するところにして這次の支那問題に對する方針亦一に之れに外ならず惟ふに支那に關係を有する歐米列國の夙に帝國の誠意を諒とするや疑ひを容れず又支那一部の人士にして此の際妄りに我の眞意を疑ふ者ありとするも苟も虛心以て時局の發展を注視するに於ては必ずや釋然として帝國の公明正大なる態度を認識し我れの支那國民に對する好意同情の切實なるを感ずるに至るべき也斯の如くにして兩國傳來の親善關係は一層緊密を深くするや疑を容れず歐洲戰亂の影響は頗る注意を要すべきものあり又之れが終熄に伴うて來るべき影響に付きては深く之れを研究し豫め之に備ふるの用意を必要とす政府は之れが審究並に準備に付き遺漏なきを期せんとす各位亦適當と認めらるゝ意見を提示されんことを望む開戰以來我が財政經濟の受けたる打擊は頗る著しきものありしに拘らず我が經濟界は獨立自營の精神頗る旺盛克く困難に堪へ進んで經營を爲すの能力を發揮せるものあるは我が民力の伸張を示すものにして眞に欣ぶべき所なり而して內外市場に於ける我が公債信用の如きは殆んど稀に見るの域に達せんとす政府は輕佻なる經營は固より堅く之を警むると雖も一面斯の狀態に適應する各般の施措を爲さんことを期す最近數年間度々豫算の成立せざるあり國務進行上支障の尠なからざるに非ざりしも第三十六回及び第三十七回の兩回の帝國議會の議を經て多年の懸案たりし國防の計畫其の他多くの緒に就き又近く總豫算案其の他多くの法律案を成立するあり通じて一般の不安を除くを得たるは國家の爲め誠に欣ぶべき所なり各位は新たに成立せる豫算及法律の實行に就き周匝なる注意を致さるゝと同時に人心の歸嚮をして益々著實ならしむるに意を用ひられんを望む各位の執掌せらるゝ地方行政は各位の冷靜嚴に盡さるゝと公正公務を執らるゝとに依り大なる改善を爲したるものあるを認む(下略)

▲武富藏相演說

(前略)歐洲の大戰亂は世界の經濟に多大の影響を及ぼし生產交通貿易爲替金融等各般の經濟現象は前古未曾有の變化を現はしつゝあり我が國も交戰國の一なりと雖も東洋に在りて他の交戰國とは地理上の關係を異にするを以て國家經濟の上に被る影響も亦他の交戰國とは其の趣を異にするものあり即ち輸入貿易は歐洲生產界の變動及び航海交通の困難に依り著しく減退し殊に工業原料の輸入減退に依り我が工業界の被れる不利益頗る大なるものありと雖も時局の教訓に依り產業上の自覺を促し研究と努力とを以て我が國化學工業金屬工業造船工業其の他の高級工業を進行せしめ之をして基礎ある國家的工業の境に發達せしむる事を得ば所謂禍を轉じて福と爲すものなり(中略)開戰以來昨年十二月に至る迄の間に於て軍需品の戰前に比し輸出增加額は槪算一億一千萬圓其の他貿易以外の關係に基く輸出の增加なり(中略)昨年の貿易は輸入の減退と輸出の增進とに依り一億七千五百萬圓の輸出超過となり我國外國貿易は市場未曾有の現象を呈せり而して此の趨勢は本年に入りても依然繼續し一月以降四月末迄の間に於て既に五千七百萬圓の輸出超過を示せり是に依つて之を見れば本年の輸出超過は恐らくは二億圓を下るをなかるべし(下略)

◎大藏省豫金部現況

四月三十日に於ける大藏省預金部現況を聞くに前月に比し異動の重もなるものは資金の部に於て郵便貯金四百萬圓預金部積立金等一百萬圓を增加し諸預金一百萬圓を減じ差引四百萬圓を增加せり而して運用の部に於ては支那政府債券一百萬圓現金在高二千八百萬圓を減じたるが之に對し軍艦三隻賣却代金として露國大藏省證券一千五百萬圓及び英國大藏省券一千八百萬圓を增加し差引四百萬圓增加せり(東京特電)

◎石原次官著發

石原宮內次官は十日午後七時著釜官民の迎送を受け高麗丸にて歸東の途に上れり(釜山特電)

◎總督巡視
十日午後三時忠州著

寺內總督一行は十日午前八時永登浦より自動車三臺を驅つて忠州に向ひ沿道各所に於ける多數出迎者に對し總督は車上より挨拶し利川郡廳にて下車各員を接見訓示を與へ廳庭に記念樹を手植し長興院にて晝食休憩の後直路忠州に向ひ豫定より早く午後三時忠州著各面長其他團體個人の堵列せる前に一々挨拶し郡廳にて官民に接し懇篤なる訓示を與へ衞戍病院地方法院憲兵分隊面事務所守備隊財務課出張所を巡視し其より彈琴臺の古蹟を訪ひ午後七時宿所に入れり(忠州特電)

◎時局と奉天省
革黨一派の活動

奉天省が盛武將軍張作霖氏に依りて現狀維持となれる事は既報の如くなるが同將軍は最近北京の各要路及び各省將軍に宛て萬一元首交替するも元首の交替に依りて今日の時局が直に收拾され得る見込立ち難し支那統一の難恐らくは更に一層を加へん此際奉天省は微力を以て治安秩序の維持に當り全局綏定の爲に犧牲となるを辭せざる覺悟なりとの同文通牒を發し袁總統の爲に共力を致さんとするの意を明かにせるが一方張將軍の態度に慊らざる革命黨員の一派は吾景濂、揚大實其他を奉天に、松毓、李振洲、其他を吉林に、秦立安、常頴侯等を黑龍江に分派し茲に東三省公民討袁協會なるものを組織し南方護國軍と相呼應じて東三省に討袁の擧をなし共和の基礎を築かんと企て近く總會を開き會長以下各役員を選擧し山東省に於ける革軍の運動進捗と相待ち東三省にも驚天動地の大事を決行せんと晝夜奔走しつゝあり道次桓仁縣に起れる東邊獨立軍は是等の一派と氣脈相通ぜるものゝ如く彼等は既に鄧兆中、王濟輝、文懷亮、崔文會、其他數名の列名にて袁總統退職に關する激烈なる檄電を各地に發し同時に鄧氏を其の總司令に推し他方安民の布告を出し着々運動を開始し來りたれば奉省の前途決して樂觀を許さず張將軍の現狀維持策が果して確實に支持せらるゝや否や多少の疑ひなき能はず殊に總司令に推されし鄧兆中氏は第一次革命の際關外都督藍天蔚氏の部下として大に活動したる相當智勇ある人物なりと云へば張將軍に取り一敵國を現出したるものなしとせず斯くて今後の形勢が如何に變化し來るべき乎は支那本土における時局の推移と共に此際注目の價値なしとせざるべし(大連)

◎重石會社設立計畫
鑛業家の一致=資金百萬圓

京城鑛業家津田鍛雄氏が最近發表したる現下の朝鮮タングステン鑛願に胚胎し生れ來るべき諸種の弊害並に面白からぬ現象を除く爲め朝鮮の相當なる鑛業家相圖り半ば公共事業に出資する計畫の下に重石採掘を行はゞ如何との說は痛く京城

▲鑛業家の注意を惹きしものゝ如く最近山口太兵衛古城菅堂小林藤右衛門の諸氏其他京城の鑛業家二十餘名集合諸種相談を重ね去る八日夜千代本樓上に發起人の調印を濟まし更に事務所を南山町二丁目に設け可成取り急ぎ企畫の進捗を圖る事となりしが其の內容は資本金百萬圓五十圓株二萬株とし最初四分の一十二圓五十錢を拂込み乃ち二十二萬圓を運轉資金に當て其の利益金中

▲一割五分の配當をなし殘額純益の二割は總督の指示する公共事業に投ずるてふ條件により目下競願の形となり居る鮮內有望重石鑛區の採掘許可を得んとするものゝ如く尤も其の內容は最後の決定迄に多少の變化あるべきが發起人中には京城のみならず地方有力鑛業家をも加へんとするものゝ如く又株は大部分發起人にて引受け其の一部を公募するに至らんと

◎關稅收入增加

四月の朝鮮關稅收入は輸移出稅四萬八千五十八圓輸移入稅廿九萬九千三十一圓噸稅六千百零五圓諸收入七千五百十六圓合計卅六萬七百十圓にして一月以降累計百五十萬四千九百九十五圓に達し前年より三十四萬七千八百九十一圓の增加なりと

◎海藻檢查改正

海藻檢查は每年四月より十一月末の間に施行する規定なるが近時鮮內に於て海藻の粗製を敢てする者現はれ來りたるを以て右の期間外に在りても適宜輸出の途を講ずるの必要を生じ、釜山地方に於ける當業者にして之れが請願を爲すもののある趣きなるが當局に於ても亦其の必要を認め海藻檢查規則一部の改正に就き目下詮議中なり

◎朝鮮一の巨船
中村組購入の第五雲海丸

鎭南浦中村組にては露程來米國人より其の所有船ロバートダラー號(五千四百噸)を購入すべく諸種交涉中の所最近商談出來せしに付同組は引渡しを終り船籍は朝鮮に置き第五雲海丸と命名せしが該船は直ちに在神戸外人に貸船する由倘ほ第五雲海丸は朝鮮在籍船中第一の巨船なり

◎公醫講習會(開催)

警務總監部にては各道より公醫三名宛を選拔召集し五月三十一日より十二日間醫師及び醫術に關する講話會を開催する筈講師は總督府醫院在勤の森安、室谷兩博士、坂井、藤井、河野、渡邊、早野の各醫官、吉木副官、京城醫學專門學校在勤の稻本敎授、警務總監部在勤の坂東警視、兒島原の各技師なりと

◎軍司令官巡視日程

駐劄軍司令官井口中將は安藝高級參謀、古城副官、野津副官、香山主計正及長谷川軍醫を隨へ向ふ三週間の豫定にて南鮮各部隊を巡視の筈なるが其日程左の如し

▲五月十五日午前八時四十二分龍山發午後零時三十五分大田著▲五月十六日全州滯在▲五月十七日午前十一時頃南原着▲五月十八日午後四時十六分裡里發午後五時卅四分井邑着▲五月十九日午後六時茂長着▲廿日茂長滯在▲五月廿一日午後六時井邑着▲五月廿二日午後四時木浦着▲五月二十三日午後二時海南着▲五月二十四日午後三時三十分頃莞島着直ちに乘船▲二十五日午後五時順天着▲五月二十六日順天滯在▲五月二十七日午前十時麗水着午後四時三千浦着午後六時晉州着▲五月二十九日午前十一時馬山着▲五月卅日午前十時四十二分三浪津着午後二時四十七分金泉着午後三時金泉發午後六時頃居昌着▲五月三十一日居昌滯在▲六月一日午後三時三十分頃海印寺着▲六月二日午後七時頃金泉着▲六月三日午後一時芙江着午後六時忠州着▲六月四日忠州滯在▲六月五日鳥致院發

◎大倉組の新計畫

大倉組は安州に製絨所設置を計畫せしが之れが工場地を新義州何れに定めんかが問題となり居りしも引込線の便宜上又其他の經濟的見地より新安州を設立地と決し工費約十萬圓の豫定にて本年中には工場新築の運びに至る可しと(平壤)

◎京城水道水質試驗

此程京畿道水道係にて執行せる京城及び仁川兩水道の水質試驗成績を聞くに原水漢江は春季氣溫の上昇と水量の增加に伴ひ著しく水質不良となり水中の有機物及び固形物就中細菌數を甚しく增加したるも幸ひ兩水道共降水作業完きため水道濾過水の水質は極めて良好にして從前と大差なく細菌數の如きも一度濾過池を通過する時は含有菌量の九十八乃至九十九プロセントを除去することを得試驗水一立方糎中十乃至二十個を算するに過ぎず之を內地の水道に比すれば神戸、廣島等に劣るも東京、大阪、京都より遙に良好にして岡山に比肩し得べしと

◎二郵便局の廢止

永興灣防備隊の引揚げに伴ふ咸南松田郵便局の廢止並に郡廳の移轉及び隣接郵便所ある爲め其の存立の理由を失ひたる忠南藍浦郵便局の廢止は共に何れも遞信局にて五月十日實行せり

◎阿部中將入京

築城本部長陸軍中將阿部貞次郎氏は木村工兵大尉を隨へ十日午後九時南大門驛著列車にて入京巴城館に投宿せるが十一日は總督府及び軍司令部を訪問し十二日午前九時二十分南大門發元山に向ひ十七日午後歸京の筈なり

◎吉原總裁歸京

馬山に宿痾療養中なりし東拓總裁吉原三郞氏は十日午後九時南大門驛著列車にて歸京したるが停車場には東拓社員始め官民多數の出迎ありたり

◎金剛山行客と朝鮮郵船割引

朝鮮郵船株式會社に於ては金剛山探勝客の便宜を圖り同社航路長箭港行單獨及び團體連絡往復乘車船券を發賣す可く其の規定左の如し

▲發賣驛 南大門、仁川、大邱、釜山、平壤▲割引 發驛元山間復彼發通賃金三割引(單獨割引)發驛元山間往復の五割引(團體割引)▲期間 廿日間

人事消息

▲橋本良次郞氏(築城本部長) 十日夜入京巴城館に投宿

▲東滿鐵道委員一行 十日夜九時四十分南大門發奉天へ

▲今川唯市郞氏(營林廠事務官) 十日夜入京天眞樓に

南言北語

何うやら又た歐洲には媾和風が吹き初めたらしい▲例に依つて羅馬法皇が今度は米國を勸誘して居る▲法皇と獨逸との間には媾和に關して何んだか打ち合せがあるとか▲駐獨米大使が潜航艇問題で獨帝と會見した時ソッと最う媾和の話も仕合つたとか▲今に初めぬ事ながら戰爭がなまけて來ると媾和風が吹いて來る▲法皇が獨りあせつたつて相手の聯合國が聞かねば何うする相手のない相撲は取れまい▲支那の政變も何となく風の吹き回しが變つて來た樣だ▲北方唯一の力と賴んで居た熊希齡もトウド駄目だと見切りを付けて參政迄も投げ出して逃げ足になつた▲段內閣も何だか瓦解しさうになつたと思つて居たら▲馮、張、倪の三將軍は突然袁總統の味方となつて四の五の吐せば一戰爭やらうかと南方に一喝を食はした▲南方の諸將之の通牒に接して馬鹿云へッと云ふや否やは疑問だ▲何しろ大立物の馮、張、兩將軍が相手だから南方も一寸考へるのだらう▲其れとも騎虎の勢で一と勝負決するのも面白い▲其うなれば埒も早くつく譯だから▲南方も最う一と息やつては何うだ▲此間滿州から來た人が張作霖の道德と書いた文字を持て居る▲張將軍は却々字を書かぬ人だがと聞くと▲或る日支紳士の宴會でイヤと云ふのを無理に書かせたが先づ何にか書いて呉れと賴むと▲將軍澁々ながら筆を採つて道德とやつたので之は〳〵と許り並居る連中は膝ッ玉を叩き賞した▲先づ其の道德もよからうが署名する時になつて「雨」と書いて次の字をハタと忘れた▲流石の將軍もきまり惡る氣に副官をソッと顧て敎へて貰つてヤッと「亭」と附けた▲雨亭は將軍の號だが亭の字を忘れて居たらしい▲書は以て姓名を記するに足ると云つた昔の豪傑よりも▲其の豪傑振りはズッと上だと一同感服したゲナ

◎救護班一行著發

春播麥の如きは根腐れたるものさへありたるが近來天候回復と共に作物
た不振なり目下金利內地人二歩五
國內地人朝鮮人三歩の見當なり
鮮人四分穀價は粗四圓八十五錢玄米十圓十錢大麥三圓三十錢小麥七圓
七百十五名、內譯內地人九二三五名、支那人五一名、歐米人一四九名此等
人二二六名、支那人二三名、歐米人則一等三三名、二等一四八五名
るを以て內地各方面…漁業者或は製林人夫の團體等多分來鮮なしたる
上需北面生れの朴秉七(三八)は昨年五月七日居村に於て罌粟を栽培して阿
六日午前九時頃鍾路六丁目菜種後より家屋買收周旋の名義にて金八圓を

一ヶ年卒業 實業講習錄

十大特色
學科は實用を眼目とす
學校と同一の學力が附く
講習期間は僅少で濟む
卒業後は出世が早い
職業の傍勉强が出來る
講師は各學校一流の人
文字は總振假名を用ふ
說明は平易親切を極む
程度は中等教育の標準
賞金は賞牌を贈る制度あり

入會好機
□小學校卒業生は如何に方向を定むるか
□商工子弟は何時まで丁稚小僧に甘んずるか
□請ふ學校に行く能はざるものは進んで本會に入れ

講習科目
□商業簿記□銀行簿記□商事要項□商業英語□商業作文□經濟講話□商業數學□珠算□實業讀本□商業實務□商業地理□商品學

會費低廉
講習錄は每月一日十五日の二回に發送し一年二十四冊で全部講習を終る
(一ヶ月)五十錢(三ヶ月)一圓四十五錢
(半年)二圓八十錢(一年)五圓五十錢

本會役員
總裁 大隈伯 顧問 贊助員は當代一流の人物
副總裁 澁澤男

見本進呈
ハガキにて御申込になれば無代にて
申込所 東京京橋區[illegible] 帝國實業講習會

資本金 五百萬圓
頭取 安田善三郎
京城本町壹丁目
株式會社 百三十銀行 京城支店
電話 五八番 一九四番 振替貯金京城一一三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

日韓書房
新版報告
樋口麗陽著 獨逸の空想 日本征服 定價八十五錢 送料八錢
青木まさを著 藝者の裏おもて 定價九十錢 送料六錢
渋潮路作 怪人怪光 定價四十五錢 送料八錢
押川春浪著 空中の奇禍 定價六十錢 送料八錢
佐々木十九著 商賣繁昌の秘訣 無駄を省く法 定價八十錢 送料八錢
京城本町二丁目

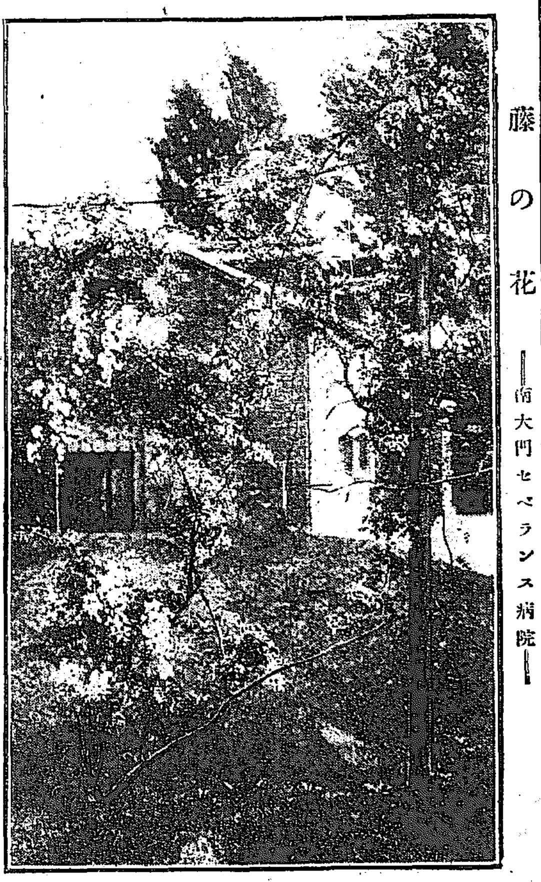
[illegible]高麗丸にて[illegible]

尙州 ●産業況 ●慶北尙州産業況は昨月降雨多量氣温一時冷却の爲め一般作物發育を害し殊に[illegible]養蠶戸數約四割增加の見込みにて當業者大に觀望しつゝあり ▲金融近況[illegible]たるも大勢より見れば些々たるもの[illegible]市場取引頗る閑散是が爲め金融界亦[illegible]にて金利普通内地人二步五厘内地人[illegible]

●**連絡客四月中概況**（釜山） 連絡船四月中釜山港出入回數並に乘降客數は出港船六十回、乘客九千[illegible]八百三十五名[illegible]入港船五十九回、降客一萬一千四百七十四名、内譯内地人一萬[illegible]一九七名、[illegible]人七七名、支[illegible]にて[illegible]五百四十五名增、降客數一〇五[illegible]四二名に比すれば六百五十五名の增加を示すは出稼ぎの好順氣に向ひた[illegible]以上の增加を示せり

●**阿片で大儲け** 慶北明川郡[illegible]取押へらる

◉**圖なしい左官職** 京城[illegible]信洞居[illegible]金奎鉉(三[illegible])は昨年十一月二十[illegible]路署に檢擧さる



藤の花 ―南大門セベランス病院―

便利な位置に在たら
世界の觀光客を聚めた＝金剛山
＝三上鐵道院旅客課長談＝

金剛山が何故今迄餘り世間に知れなかつたのかと言へば其位置が餘り奥まつてゐて交通が不便であつたのと之を紹介しても其文字が拮屈晦澁であつたからなのである若し多少便利な位置にあり之を紹介する

◇**文章が世界的の** ものであつたとすれば吃度倘少し早く人目に觸れるに至つたであらう然し今迄はさうであつた然しもうさうではない金剛山が世に出る機會が來た朝鮮は滿鐵道間道に依つて世界の大動脈と爲つたのだから我國印度洋から蘇西運河を通過しようとすれば之は朝鮮鐵道は今後世界の人の公道と爲つた譯である地位に接して見るがいゝ米國から經由して歐洲と往來するには鮮くも廿六七日を要する若しすれば僅に十五日で世界に出られ世界から倫敦四五日間を要するそれが西比利亞を通過したと迄は一日で行ける時間經濟の必要が認められる文明人にとつては同じ處にありと云ふのに永い時日を要する道を選ぶ者と云つてありはない而して哈爾賓から滿鐵に出るか朝鮮經由するかさう言ふと今の處時間は相伯仲してゐる處が浦鹽經由に一つ厄介なのは

◇**浦鹽敦賀間** 航路が四十時間と云ふ長時間を要する事である關釜間は今の處十時間で行ける鐵道院も急せ何時迄も今の樣な連絡船を使用もしまいし一時間廿六七哩の汽船を使ふとすれば五六時間に短縮する事は出來る譯だ一體急と云ふ奴は餘り好まれないもので大シーザーでさへ船を催ほしたと云ふ事だが大抵の人には好まれない即ち旅客の大多數が浦鹽經由をよして朝鮮經由を選む譯になる先年加奈陀太平洋鐵道汽船會社支配人ブキヤナン氏が日本に來て朝鮮經由

◇**世界漫遊した時** に朝鮮の感想を語つて「朝鮮が無闇に此開拓されてぬようとは思はなかつた此開拓と此自然の美を有し乍ら何故世界的の紹介をしないか」と言つた事がある東西比ろ一貫の遊覽者たる途中の旅行から更に無趣味な滿洲を通つて是一度朝鮮に入つた者は誰人と雖も快い感じを抱かないものはない而も京城は兎に角一時の變ある都會である何しろ高麗朝の文明から引續き李朝五百年の文化の中心地である其れに外人をして更に不足を言はせる事の出來ない程完備した朝鮮ホテルがある實際市街の中心にあつて全市を一望の裡に蒐め得る樣な形勝の地を占めた處は餘り多く無い即ち何の用件を持つ人に限らず朝鮮を通過するに際しては必ず京城に下車して行くであらうが其京城から僅に三四日を犧牲にすれば得る地點に金剛山の様な

◇**天下の絶景を** 存すると云ふ事は非常なる天惠であると謂はねばならぬ金剛山は今迄餘り人に知られてゐなかつたが予は安藤君(鐵道局參事)から度々聞かされてゐたものだ然し大抵の名所名物が噂より餘程懸引して聞かねばならないものであるのに金剛山許りは流石安藤君の紹介も未だ盡さゞる處があると云ふ感じを實際に一眄して初めて得た山陽は耶馬溪に於て筆を折り筆を擲つたと云ふ事であるが今の世にして山陽をしてあらしめば果して金剛山に對し奈何の言を爲すであらう予は群馬の出であるが郷國には或は妙義、榛名、赤城等數多の名勝があり總て奇勝妙景を以て鳴つてゐる處が

◇**金剛山を一眄** するに及んで更に比較にならず總てが小規模にのみ見える然し乍ら如何なる絶景と雖も交通が不便では一寸見には見に行けない金剛山を天下の金剛山たらしめんと思へば第一に交通の便を計らねばならぬ之に就ては鐵道局初め大に盡す處ある事も承知してゐるが尚全く充分だと云へないと思ふ人も知る米の黄石公園(エローストーン、ナシヨナル、パーク)は國立公園であるが其設備たるや完成を極めセントホールから道路列車を聯絡して特に觀光の客に割引切符を發賣し荷物は驛に預けたまゝ只鞄一つを持つて行けば奇勝あり温泉あり旅館あり音樂堂もあればゴルフリンクもあり總て一點の不平も言へない樣にしてあるから幾日でも思はず時を過させられる予の考では金剛山を是非日本の國立公園たらしめ度い日本では富士山を國立公園たらしめ様として蒲生太郎氏など頻りに奔走し予の如きも大に其攻學調査をさせられもしたが成程富士山は日本の誇である然し金剛山に比すれば餘りに單純である予は思ふ

◇**金剛山をして** 國立公園たらしめ度いと思ふ其れには今言ふ通り尚少し設備をしなくてはいけない汽車の便を下りれば自動車が通じ自動車の行けない處には人力車乃至輿を用意すると云ふ事は是が非でも必要だ温井里から萬物相に行くには今の處四人擔の輿があり或は鮮馬があるが怎も危險の度が强過る此間の道路の如き起伏があるにはあるが左迄急勾配ではない新萬物相を見ようと云ふには無論アルプス登攀の積りで行くより外仕方が無いか

◇**舊萬物相に迄は** 尙少し手を入れれば險なく危險の度を減削する事が出來ると思ふ神溪寺から玉流洞に至る道路にしても尙少し道路の改修を爲す要があるそれから温井里に宿つて山見物するにしても毎日々々山見物でもなからうから家居に際しての設備も多少は必要である或は黄石公園に倣つてゴルフリンクの設備を爲すもよからう音樂堂の設備もよし更に觀旅客をして三日の豫定は五日に延し一週間にさせ其の生活をなさせるのに充分に退屈しない設備丈けはして置く必要がある成程設備を爲すには相當の金も要る總督府にしても多少の金は支出するであらうが然し之は官吏許りでやらうとしても出來ないものだ寧ろ官民上下一致してやらねばならぬ恐くてこそ眞の國立の意義を爲す者ではあるまいか世にはや

◇**瑞西が觀光客の** 下した金で國家が成立して行くからと云つて何となく其の國を卑下し蔑視する傾きのあるのを甚だ遺憾とするものがある現に世界的に未知國であつた日本が日露戰役後非常に列國の注目を惹き一時觀光客の下した金が三四千萬圓に迄なつた事があつたが此金と輸出貿易に依つて利益した金との間に如何なる差違を認められるであらう共に同じく國富を爲さしむる一利源ではあるまいか此意味を深く諒得して官民一致よく旅客を導く策に就き研究し施設し金剛山をして正に世界に誇るべき一大樂地たらしむるに努むる事は獨に朝鮮と云ふ立場からのみならず國家と云ふ上からも重大なる急務であると思ふのである

□東宮殿下
砲兵工廠行啓

皇太子殿下には七日午前九時御出門濱尾大夫御陪乘甘露寺侍從、戸田主事、壬生東宮武官等供奉し淳宮雍仁親王、高松宮宣仁親王兩殿下には同午前九時十分御出門三好傳育官長御陪乘にて何れも小石川砲兵工廠に行啓宮田提理以下の奉迎を受けさせ給ひ休憩室に御少憩の後宮田提理の御先導にて小銃砲具精器銃砲火具等の製造實況其他の諸機械を御覽あり正午後樂園に行啓涵德亭に於て御晝餐を召せられ午後庭園を御散策御休憩室に御休憩の後午後四時頃御機嫌麗はしく還御相成りたり(東京)

◉保險金五千圓 請求訴訟
不適法として却下

京城本町一丁目木塚襲裟市同たまの兩名は加古辯護士を訴訟代理人として本店を京都市油小路御前通りに有する共保生命保險會社を相手取り金五千圓の保險金請求訴訟を京城地方法院に提起したり原告の主張は昨年九月十八日京城にて兩人の長男なる木塚角士を三十箇年の養老保險に申込み第一回の掛金五十七圓を同時に拂込みたるが角士は昨年十二月十九日病死したるを以て其契約をなした同會社京城出張所なる黄金町二丁目の新井支店長に右保險金を請求したるも應ぜざりしより右の訴訟に及びたる由是れに就き會社側にては安住辯護士を訴訟代理人とし互に同法院にて辯論の結果被告側より防訴の抗辯をなし本店所在地にあらざるを以て管轄違ひの爲め此程右の抗辯は理由あり原告側の訴訟は不適法として却下となりたり

◉支那軍警邦人を撃つ

朝鮮總督府の命令航路なる鴨綠江の運輸事業を經營しつゝある鴨綠江運輸司所屬高瀬舟二隻は本月初め王桓仁縣知事の統率せる遼東護國軍の爲に奪取されたるに依り該運輸司所にては所員を派遣し行衞搜査中の處上流長甸河口對岸なる清城鎭附近に放置しあるを發見せるに依り六日午前十時頃安東縣へ向け廻航せんとする際突然武裝せる約三十餘名の支那軍警對岸に現はれ船夫に向ひ何事か詰問する模様なりしも邦人船頭林某は先頃内地より渡來せし許りにて支那語を解せざるより北礎下航し居たるに彼等軍警は無謀にも突如發砲し始めたれば便乘せる邦人一名は逸早く船底に隱れたるも船頭は遁るゝ遑なく間諜付き居る中に二三十發を浴せかけられ腹部に貫通傷を受け打倒れたれば乘組船夫等は驚き直ちに清城鎭憲兵分遣所へ駈付け急報せるに依り同隊よりは官警金鑛出張所久池井軍醫を伴ひて現場に出張應急手當を加ふると同時に一面長甸河口なる支那官憲へ交渉する處あり負傷船は即時發航七日朝義州に到着し負傷船頭は同地慈惠醫院にて治療中なりと(安東)

◉十六歳の賊
倉庫を襲ふ

德島縣生れ大小田[illegible]郎東雲町居住大小田[illegible]の二男下治(一六)は常に盜癖あり去る一月中兒と共に窃盜を働き捕へられたる事あり兩親も種々說意見を加へ見れど一向に聞き入れず持て餘したる末大田に居る下治の姉婿方に預けたるが下治は持つて生れた惡性止み難くよからぬ事のみをなして姉にも嫌はれ去月中大邱に歸來し本月六日夜十時頃東雲町吉富佐吉方の倉庫に忍び入り刻煙草福壽[illegible]十袋を窃取して何喰はぬ體を装ひ居りしを大邱警察署刑事に捕へられ目下取調を受け居れり

◉暴徒數十名を捕縛す
邦人四名を奪ふ

我憲兵一名居留民三名山東鐵道南泉驛附近にて土民數百名に襲はれ行方不明となりし爲め靑島より沼川憲兵中尉憲兵二十名を率ゐて搜索に向ひ直田中尉の指揮する沿線守備兵六十名の助力を得て現場に馳せ付け土民數十名の嫌疑者を捕縛し我遭難者四名の行先を調べしに萊陽縣知事衙門に囚禁され居るを確め知事に嚴談の上四名の遭難者を引取りたり(靑島)

◉新發明搏擊砲の成功
試驗中に爆發

九日午後一時村田少將新發明の搏擊砲を志津原にて試驗し成効せしも砲口爆發して即死者を出せり(東京特電)

■新綠の清涼里

淸涼里の最も美しいのは昨今である、淸涼里は土地の名の感じと同じく昨今の新綠が最もくく美しい試みに東大門から電車に乘れば路の左右は青い畑に黄色な菜の花、それに街道の柳並木は眼もさむる許りの新綠の色！清らかな流れには釣を垂れる人もありまた萠え出た許りの楡の木の青葉に初夏のすがくしい風が吹き渡れば此方の澤よりは目白が飛び立つ、それに青い樹立の間を行樂の人の白衣がいかにも美しく見える、茶屋のおばあさんは云ふ「淸涼里の一番よい時分は今頃です」と青葉がくれ老鶯の聲がする閑古鳥がなく、徂く春の後ろ姿は猶ほ御陵の森になつかしまれる、淸涼里の昨今は非常に氣持ちがよい

◉溺死者を發見

去る八日富川郡文鶴面東春里長より溺死者を發見せる旨屆出でたるを以て仁川署管內官廳里駐在所の三垣部長警部と共に現場に急行し檢死を遂げたるに溺死者は年齡三十七八歲位の船夫體の鮮人男にして附近を航行中過般の暴風雨の爲め船體轉覆して溺死を爲したるものなるべく屍體は文鶴面長に下渡し假埋葬に附したり(仁川)

□すつぽん
■内地に歡迎される■ ■今が其の送りどき■

「日本で用ゐられるすつぽんの大部分は殆んど朝鮮から供給されて居ます、恐らく今後共朝鮮のすつぽんが内地の料理界に

▽**鄙を稱ふ** るに至りませう。」とは東大門外阪田養殖場主のはなし、何分すつぽんといふ奴は卵から孵化して三箇年經なければ市場に出されぬといふ代物故内地などで飼つても到底引合はぬといふすつぽんを内地に送るのは一年中で昨今の時候かまたは初秋の頃が一番よい今頃送るものは

▽**素人が送** つても大丈夫安全に届くもので世間によく云ふやうに籠の裡で仲間の小便にかゝると斃死するといふのは虛言である、すつぽんは三年たつと問屋で百匁五十錢位に賣れる、現に本日も三千疋東京へ送りましたとのはなしである、抑もすつぽんを飼ふには池の周圍に板圍ひをしてそのぐるりに柔かな砂の土堤を築き毎年盛夏ごろ雌が砂地にあがつて

▽**産卵する** 準備がいる、左右すると卵は孵化して別の池に放たれ三年目には親になるのである、すつぽんは冬期間は泥の裡に潛つて居る春さきになつてもあの尖がつた口端を泥の裡からつき出してパクパクと呼吸して御坐る、親は毎年春五月頃泥の裡から掘り出して内地へ送るがふだんは乾鰮を餌に貰つて居る、また支那人が

▽**龜類を厭** ふのは日本人の想像だにも及ばぬところであるが朝鮮人も亦あまり龜類を愛好しない、それで朝鮮の河川沼澤には從來すつぽんが多いやうである、殊に國境鴨綠江から間島方面に行くと非常に夥く買へるとのはなし、或俳人は昨今のすつぽん掘りを俳句の歳時記にいれたいといつた。

◉匪賊數十名に襲はる

六日午前二時頃山鐵沿線南流驛裏日本人の家宅に賊徒約十名來襲し邦人一名は胸部を打たれて即死し一人は同樣危篤に瀕し尙他の一人は顏部を斬られたるも生命には別條なかるべく其他の被害に就ては目下坊子憲兵分隊にて取調中(靑島)

◉**振威郡消防演習** 京畿道振威郡平澤消防組は昨年以來器具消防機械の購入等設備中の所七日振威警察署構内に組員を召集し午前九時より同地鐵道敷地廣場に於て岡本振威署長の點檢あり終つて實地に付き演習を擧行し頗る好成績を擧げたり

◉**新設驛吹倒さる** 平北安州郡安州驛は淀川商會の請負にて新築工事中なりしが此程漸く竣工し七日より内部の工事に取掛る豫定なりしに去る六日夜來の暴風にて七日午前十時過ぎ全部倒潰したり請負者の損害多大なると同時に開業期迄の再築は或は覺束なからんかと

◉**阿片を隱匿す** 京城大平町二丁目居支那人王金修(三[illegible])同孫王春(二八)外三名は數日前共謀し阿片を製造し之を販賣せんと各自宅に隱匿中本町署に檢擧されたり

◉**依託金を橫領す** 京城忠信洞新商徐內德(三九)は一月二十二日同洞李完熙と共に江原道淮陽郡邑內に出張し歸京する際同人より現金二十圓を同洞の崔召史及び金寧培の兩人に渡し吳れと依託されたるを橫領費消したる爲め鍾路署に引致さる

◉**日宗婦人會例會** 旭町三丁目日蓮宗寺に於て來る十三日午後一時より第六十八回例會開催法話數名及び餘興ある由

◉**本能寺說教** 水標橋通天本山本能寺布教所の定期二の日布教は十二日午後二時夜間八時より開會(日蓮上人の御再動化)主任講師の說教あり

法人登記公告

安城地方金融組合監事洪鎬圭辭任シ京畿道安城郡二竹面長陵里四百七番地沈文澤監事ニ當選シ大正五年四月貳拾五日就任シタリ

右大正五年五月八日登記

京城地方法院安城出張所

鑛業用水車金物 薩摩式碎鑛器具 スタンプ杵先臼底鐵金物 水銀焼分器乳鉢並に擂鉢

鹿兒島縣川内 三 新原鍋屋

第貳期決算報告

貸借對照表

資産之部

科目	金額
未拂込資本金	壹〇〇、〇〇〇●〇〇〇
金銀	九六壹、〇五六●參九〇
不動産	四、四壹五●壹七〇
營業什器	七、九七貳●七壹〇
預ケ金	九、壹七九●〇八〇
開墾事業費	五參貳、四八五●八壹〇
西鮮農場	貳、壹六五●四參〇
精米部	參、參五六●四六〇
振替貯金	九壹●八九〇
代理店	八、八貳六●六六〇
全北農場	四、八六九●七貳〇
管理所	參、壹六七●六八〇
作得現存品	壹八壹、五〇四●壹七〇
商品	五〇、〇四壹●貳五〇
積送商品	六參、參九壹●四八〇
地方廻米部	貳八、壹壹七●五七〇
得意先	四壹、〇四五●參參〇
立替金	七七、九壹壹●六九〇
貸附金	五、五七八●壹八〇
托委品荷仕	貳、八參〇●五四〇
債權手形	參參、參壹七●四五〇
假拂金	壹五、七九壹●七貳〇
未收入金	壹六、七四〇●五壹〇
合計	貳、壹五參、八五六●八五〇

負債之部

科目	金額
資本金	壹、〇〇〇、〇〇〇●〇〇〇
法定積立金	七五〇●〇〇〇
特別準備金	貳貳〇、〇〇〇●〇〇〇
信認積立金	參、〇六九●七壹〇
廻米保險積立金	壹、四壹七●七貳〇
銀行當座取引	七參、參四四●五四〇
借入金	五八〇、〇五五●參〇〇
債務手形	八七、貳〇〇●七〇〇
假受金	六六、七貳參●七五〇
積送品荷爲替	五九、四五〇●〇〇〇
仕入先	五、九四八●七九〇
前季繰越金	壹貳、〇壹貳●五〇〇
當季純益金	四參、八八參●八四〇
合計	貳、壹五參、八五六●八五〇

財産目錄ハ資産ノ部ニ同ジ

利益金處分

科目	金額
當季總益金	四貳五、七八壹●五參〇
當季總損金	參八壹、八九七●六九〇
差引當季純益金	四參、八八參●八四〇
前季繰越金	壹貳、〇壹貳●五〇〇
合計	五五、八九六●參四〇
内 法定積立金	貳、貳〇〇●〇〇〇
賞與金	參、六〇〇●〇〇〇
株主配當金	五〇、〇〇〇●〇〇〇
後季繰越金	九六●參四〇

右ノ通ニ候也

大正五年四月 京城府黄金町壹丁目

不二興業株式會社

專務取締役 藤井寬太郎
取締役 金澤仁兵衛
取締役 右近和作
取締役 中村清藏
取締役 川上佐太郎
取締役 小寺源吾

前記各項調査ヲ遂ゲ其正確ナルコトヲ保證ス

監査役 高田義丸
監査役 八木千之助

追テ監査役二名任期滿了ニ付改選ノ處中村富三郎、八木千之助當選就任候
取締役右近和作辭任ニ付補缺選擧ノ結果高田義丸就任候

勸業貯蓄債券大賣買

號別	賣價	買價
い、ぬ	[illegible]	[illegible]
ろ、は	[illegible]	[illegible]
に、を	[illegible]	[illegible]
ほ、へ	[illegible]	[illegible]
と、る	[illegible]	[illegible]
ち	[illegible]	[illegible]
り	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪市西區松島町二丁目 坪田博商店 振替大阪七三六番

新發行五分利 第六十四回賣出 拾圓 貯蓄債券 [illegible]

▲▲ 營業案内 ▼▼

□ジヨキニカケテムシタムギ
大福麥
京城南大門外 池田製麥所 電話[illegible]
□エイセイジヨゼヒメシマセ
□電話にて御注文は多少に不拘御屆仕候
□ハがき御注文は切手代御返し申候

滿鮮第一
漬物味噌問屋
嶋屋本店
京城岡崎町

アイスクリーム 十五錢
式洋式
バイカラ丼 廿錢
カフエタイガー

長壽靈品は「ヨーグルト」
荒井の牛乳
滋養と健康の母は
京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話一〇〇四番

水車 唐箕 製造販賣
京城木町二丁目(元階町) 土井米吉 電話一三二六番

タングステン
川手廻鑛機及大マグネツト中根式鑛山機械は始政五週年記念物産共進會に於て一等賞牌を授與され朝鮮唯一の光榮工業界に於ける最初の受賞者たる
京城南大門通五丁目 電話一〇四番 中根商會

千生瓢（208）

須藤南翠作　筒井年峰畫

長湫（九）

「能くぞ御注進申し上げた。是れより御前に參つて其仔細申し上げる。必ず淺からず思召され、厚き御褒美下さるゝであらう。暫くこれに居て徐に朝餉ども相認め、身が歸りを相待うぞ」

作左衛門は農民に申し聞して、直に家康の面前に伺候した。

家康は三河へ中入の企を聞いても

固めは決して御手落おざりませねば入道が存ずるやうに、岡崎、吉田の落ちやうとは存じませぬ。去りながら、一時なりとも本國の通路の斷たるゝ事は、士氣の上に好い事とも存ぜられませぬが、御賢慮如何おざりませうや」

家康は微笑みを浮べながら、平然として作左衛門を覗た。

「作左、箇樣な事は僞りの謀計として、戰場には得て行はるゝものぢやて、

更に驚き騒ぐ氣色はなかつた。猶仔細に重次に聞き糺して、

「注進の農民、何と致いた」

「御諚を伺つて取計ひ申さうと存じ重次が陣所に留め置きまいておざりまする」

「其は宜かつた、隨分勞り遣はして我等が差圖致すまで、其まゝ留め置くやうに」

「仰せ畏まり奉つる。御本國防禦の御術は、何と爲されまするぞ」

「さればぢや。家康存ずる旨あるに依つて、暫らく此事沙汰なしに致しくりやれ」

如何なる神算の在るかは知らねど家康の態度は至つて平靜であつた。作左衛門はする〳〵と膝を前めて、

「三河へ中入の企は、我が虚を衝いて後を斷たうとの謀計、流石に池田入道と存じます。固より三遠の御

農民が訴へ僞りともあるまいが、或は敵の謀計に乘せられまいとも申されぬ。先づ少し靜にして、味方の知らせを待つが好いわ」

「仰せ至極御道理と存じまするが、萬一の用意として救援の部署ども、仰せ出されては如何おざりまする」

「其とても急ぐ事はないわ。驚破と申さば人數は何時でも繰り出される、まあ騒ぐな」

家康は今後より火を放けられようとするにも拘らず、泰然として一毛だも動かさなかつた。作左衛門が尚不安氣な面色を見て、相變らずにこ〳〵と笑ひながら、事の仔細を申し聞かせた。

「作左に申すのは、釋迦に説法とやらぢやが、箇樣な事は、敵方より誠しやかに申し觸らして、地下人共に注進するやう仕組たる上、味方の勢を引き分けさせ、其の軍勢の微弱になるを伺つて、軍を仕かくる事は、往々ある例しぢや。地下人が注進さても浮と信用は致し難い。免に角味方より差入れある忍びの者の、立ち歸つて注進するまで、靜に致し居るが好い。縱令本國へ亂入致せばとて我等には其に應ずる分別がある。思慮がある。何事も我等に任してくりやれ」

と意中を明して言ひ諭した。

作左衛門も今に始めぬ主侯の拔目なき智略に推服して、御前を退出しようとした時、執次の侍士が次の間より面を出して、

「はツ、申し上げます」

作左衛門は立ちかけた腰を下して急度此方を見返つた。

「何事おざる」

「森武藏守殿陣中へ入れ置かれまいた伊賀の衆、只今敵中を脱して、馳せ返つておざりまする」

「おゝ間諜が還り申したか」と、家康の方に對つて、

京城南大門通三丁目（藤木商店横入る）
入院隨意
胃腸病院
電話一六五九番
院主 佐々木杏造

「お聽き遊されまいたか」

「おゝ聽いた。我等直々對面致す、早速庭先へ參るやうに」

「御諚おざる、御庭先へ直樣出頭致させられい」

執次の侍士が次に下る間もなく、伊賀の國の忍術者某は、大息切つて庭先へ馳せ參じた。

「大儀〳〵、池田勝入齋父子、愈々三州亂入に極まつたか」

家康が忙はしく聲をかけると、伊賀衆は仰天して家康の顏をうち目戍つた。

「御意の通りおざりまする。君には何として其儀を」と伊賀衆は不審の首を傾けた。

○アジロ會句錄

△春雨五句集（出句者十三名）

地肌凍てゝ春雨の唉入る温み　獸鵠
春雨の黄に凍て地萌ゆる蔵　同
芽麥吹くや春雨の江を下る　不二〇
春雨の絲に人形忘らるゝ　同
靴ぬぎ忘れ春雨の縁を行く　田柿
醫院開かれ春雨に氣强し　同
溫泉宿
春雨に浴衣運ぶ男聲かけぬ　羽双
春の雨石屑の道端を行け　同
春雨に山菖蒲露重し　同
時計振り音の平らかな鳴り春の雨　蔑閑
頂に登り付き春雨に帽子振る　同

○篠築夏雜十句五月二十日締切京城花園町六七杉原田柿宛

□開城蛙鳴會第四回俳句

梅井閑寂宗匠選

燕、菜花、霞

飛行機を拔く羽の輕き燕かな　冷野
三保の松今朝も霞につゝみけり　満香
平和なる里とりまいて朝霞　心翠
菜の花に床しき旅の野獸かな　松都
（入渡し呼ぶ聲や霞の内と外　花月
（地つばくろや波なき池にかく濁　楽清
（天霞みけり稚浦殿は彼のあたり　拔天
加茂路遥霞にくるゝ波の色　霞岳
　寂雲

新刊紹介

▲崖城先生へ川柳一句　明洞 松翠
さすが博士匙も句調も能くまはり

▲教育の實際（一〇の七）本號は主として小學教育に關する各種の研究を發表したり殊に第二國民の養成は此の時期を以て最も大なる影響を將來に貽すもの其の教育の是非は忽にすべからざる問題たらずんば非ず而して執筆者は總て各學校教授訓導等練達の士なれば其の内容は就て見るべし（三十五錢東京市日本橋區本石町三丁目其社）

▲汽車汽船ポケット旅行案内　從來の旅行案内が比較的旅客の携帶に不便なるを改良したる點あり（十錢東京市神田區錦町一〇東京旅行社）

▲日本の殖民地發展　早稻田大學文庫第五編にして法學博士松岡均平氏の蘊蓄になれる帝國の殖民政策並に殖民地發展の歷史を說き文字平易なり（二十八錢東京市早稻田大學出版部）

▲農業世界（五月號）根本的改善を要する我農業政策の研究と分析的研究等（十錢東京博文館）

▲ニコ〳〵（五月號）十數葉の口繪に先づニコ〳〵せしめる記事をもつて讀者に笑を與ふ（二十錢東京市日本橋區ニコ〳〵倶樂部）

讀者の領分

▲今や春は離にして多くの人々は野に山に酣はるが如くに樂んで居るのに私は何故かう每日憂悶の日を送られ失戀の悔み生のばならんのでしよう不安孤獨の悲哀異郷の寂寥あらゆる煩鎖がヒシ〳〵と胸にこみ上げて來て廣い世界の何處にも私といふ者を容れて呉れるところはない樣な氣がしますあゝ無情なる世よ！（青年）

▲私は商用の爲め每年春秋二回滿韓の重要都市に出張致します只今は京城の支店に居りますが御當地の發達は來る度毎に進歩して居ります殊に南大門から鐘路方面の道路及び下水の完全な事は實に結構に存じます田舍の人が京城市民を絕大尊敬するのも當然の事と思はれます併しながら茲に慚愧に堪へぬのは櫻井町です一ツ二ツ憎れ口を申し上げませう同町は本町と黃金町へ通ずる重要なる町でありながら其の道路は實に不潔極まる晝夜共通行は危險でなりません下水板は泥の天麩羅と化して何處の塵芥箱も溢れて臭氣紛々として鼻持ちが惡い中には踏板の腐つた處もあり修理もせず等閑にしてる家もあります夏向傳染病の流行せんとする際嚴重なる注意を望む次第であります（大阪Ｓｋ）

▲旭扇派拳士よ二葉遙柳月君よ藤八拳大に發展努力し玉へ我が名古屋拳士である諸士に御出張に預り度が城外僻地にして御足勞恐れ入る諸士の住所御披露あれ我友人にも拳士あり諸士と共に會を組織し以て一致團結發展を期す尙他拳士諸君よ餌逸すべからずどし〳〵投書し玉へ併て住所署名するを希ふ（金城鳳派巴連華鳳）

商況

大阪株式特電（▲十日）

銘柄	前場	後場
和歌山紡	六八、五〇	六八、七〇
合同紡績	二七一、〇〇	一六八、〇〇
鐘淵紡績	二四九、〇〇	二四七、〇〇
同上新株	一〇六、八〇	[illegible]
東神新株	[illegible]	[illegible]

▲十日後場

限月		
五月限	一三三、二〇	一三三、四〇
六月限	一三三、四〇	一三三、四〇
七月限	一三三、二〇	一三三、二〇
八月限	一三四、〇〇	一三四、〇〇

下關期米特電

▲十日後場（後場寄に在留み下押す）[illegible]

▲十日後場大阪前止十五圓五十八錢[illegible]大阪跡[illegible]

▲現物界　前項の如く中限の[illegible]

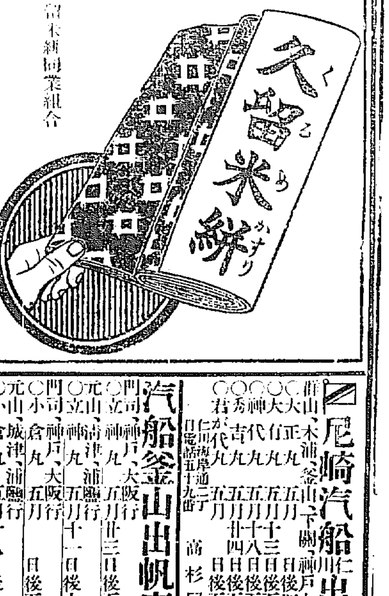
新刊書御案内

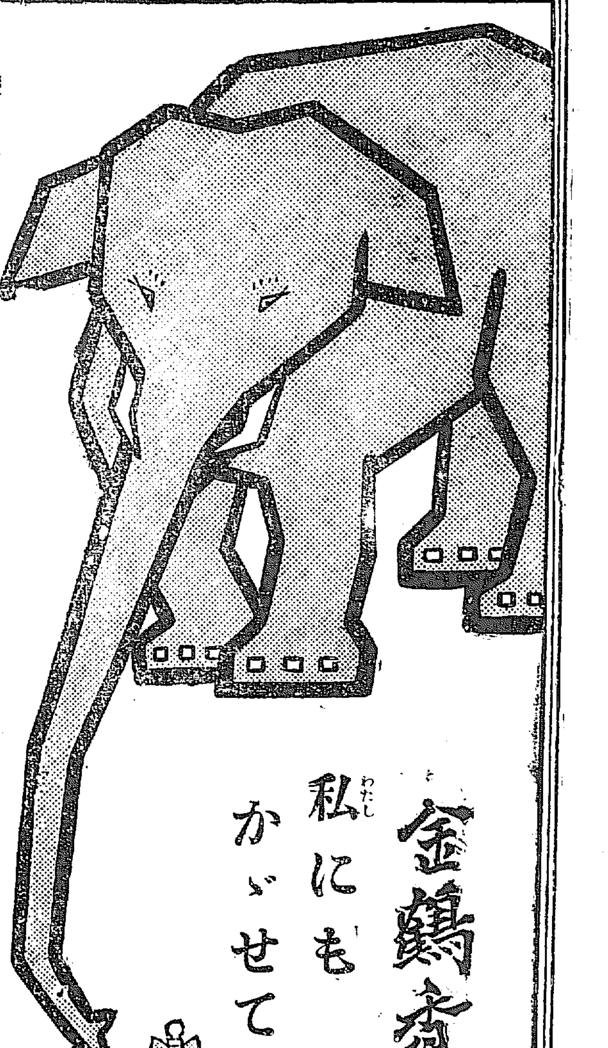
書名	著者	定價
新々英和辭典	三省堂	一〇〇
はめ手はまり手將棋奇譚	將棋新報社	四〇
朝鮮諸官廳受驗者必讀法律講義	阪上棚吉	特七五
奇妙な付と最後の手段	花井蘊	六〇
新浮世紅櫻夢上	岸本鷹德	一〇〇
人及び女として	與謝野晶子	一〇〇
日用新手紙の文	大町桂月	八〇
佛教史論	境野黃洋	一三〇
現代米國外交論	島谷亮輔	一二〇
歐洲戰局の現在及將來	吉野作造	一三〇
解析力學抄	桑木彧雄	一五〇
鐵筋混凝土工學	阿部美樹志	二五〇
增補佛教思想講話	境野黃洋	一五〇
世界統一	カイゼル	九〇
カイゼルの裏面	宮家莊男	九〇
音樂の原理	田邊尙雄	二〇〇
產業帝國主義	楠木那平	一〇〇
蒙古通誌	川島球	三〇〇
銀行簿記精義	川口題三	一〇〇
二千五百年史	竹越與三郎	特價一〇〇

大阪屋號書店
京城本町　電話二〇八六　振替京城二五七三番

支局出張所長募集
補缺の爲め臨時募集す希望者は京城本町四丁目の支局又は本舖に來談あれ書面の照會は謝絕す
大阪市西區立賣堀
日本一藥舘本舖

此麗しき藍の薫りが本品の「眞價を語つて居る」
染料暴騰の影響を受けぬ織物は「獨り本品あるのみ」
久留米絣同業組合





金鶴香水を
私にもかゞせて下さい

鶴香水日本輸入元 花王石鹼關西代理店　大阪 大崎組商會
花王石鹼製造元 鶴香水關東代理店　東京 長瀬商會

外科 內科 花柳病 皮膚病
島崎病院
京城壽町（本町二丁目入）
△入院隨時△普通病室隔離病室設備△診察夜九時迄△電話二七三六番

防蟲の六韜三略は
鍾馗印の活用に在り

定價
大形金十二錢
中形金七錢
小形金三錢五厘
碁石形 大罐金五十錢 小罐金十錢
各地藥店小間物店にて販賣す

入院隨意
酒井婦人病院
京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）
電話二六〇〇番

品質卓絕中味豐富
優等 清酒

攝津灘魚崎
釀造元 大塚釀造所
各地到所信用ある食料品店に販賣せり金露印と御指定御買上被下度候
京城南大門通二丁目
發賣元 大塚京城支店
電話四〇二番 振替口座五七〇番

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶大阪行
○大正丸　五月　日後四時出帆
○大仁丸　五月十三日後五時出帆
○神代丸　五月十八日後五時出帆
○秀吉丸　五月廿四日後五時出帆
○若代丸　五月　日後五時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番　高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
門司、神戶、大阪行 ○立神丸　五月廿三日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行 ○立神丸　五月十一日後十時出帆
門司、神戶、大阪行 ○小倉丸　五月　日後五時出帆
元山、城津、浦鹽行 ○小倉丸　五月十八日後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行 ○第三琴平丸　五月　日後六時出帆
門司、宇品、神戶、大阪行 ○第三琴平丸　五月　日後六時出帆
住須奈、嚴原、鄕之浦、博多行 ○天眞丸　每月二日九日十六日廿三日（十四）午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店　大池回漕部

日本郵船仁川出帆
大連、大沽、牛莊行
○相模丸　五月　日　正午出帆
○高砂丸　五月十一日　正午出帆
○三河丸　五月廿三日　正午出帆
仁川海岸町 電話十一番　堀回漕部

大阪商船仁川出帆
○外航航路（連絡船の時は五分前又は以て...）
群山、木浦、釜山、關門、神戶大阪行
○天草丸　五月十七日　午後五時
○油頭丸　五月二十日
○安東丸　五月廿三日　出帆
木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行
×木浦丸　五月十二日　後二時出
×信濃川丸　五月廿九日　後二時出
鎭南浦、大連行
×信濃川丸　五月十二日　後二時出
×信濃川丸　五月廿四日　後二時出
大連直行
○福州丸　五月十四日　正午出帆
○潮州丸　五月廿三日
木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
×安東丸　五月十二日　後二時出
群山、釜山、横濱行
○福州丸　五月十九日　後二時出
×潮州丸　五月廿九日　後二時出
清津、浦潮行（元山出帆）
印八城津、西湖津ニ寄港浦潮不寄港
○宮島丸　五月十九日
▲平安丸　五月廿九日　後二時出
上海、基隆、打狗行（大連出帆）
○城津丸　五月廿六日　前十時出
○基隆丸　五月十五日　後四時出
御注意
○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣致候
○各郵乘船客は本船出帆約一時間前迄に御乘船相成度候
○×印は一等客御斷り△印は一二等船客御斷り
京城切符發賣所
大阪商船會社仁川支店 電話二二〇番、二〇九番、五五〇番
內國通運會社支店

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五二番二三一番
京城南大門通 京城取次店 松原運送店（電話長一七〇）
鐵道會社及社外船と荷客連帶輸送の便あり詳細は支店、出張所、代理店、商客取扱店に御照會願候
○全羅丸　五月廿一日
○京畿丸　五月十一日
○黃海丸　五月十六日
○咸鏡丸　五月廿六日　釜山發
門司より釜山各港を經て淸津港航路
○穩城丸　五月十三日
○昌平丸　五月十一日
○鏡城丸　五月　日　元山發
元山より各港經由雄基行
○忠淸丸　五月十六日
○平壤丸　五月　日　元山發
城津清津浦鹽行復航釜山より門司又は長崎行
○永興丸　北久味、五里浦行　每月廿八回　元山發
○德丸　甘浦、九龍浦、浦項各港寄港蔚島行　五月十三日　釜山發
○江陵丸
○襄陽丸　每日（釜山浦項）發
○三浦丸　長生浦方魚津各港　五月十一日　釜山發
長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港行　○紀伊丸　○慶尚丸　每日　釜山發
○順天丸　各港經由麗水行　三日目每ニ　木浦發
○慶興丸　各港經由麗水行麗水より釜山行に接續　五月十日　木浦發
○公州丸　南多島海列島行（月二回）　五月十四日　木浦發
○公州丸　各港經由濟州島行（東側）　五月　日　木浦發
○宗吉丸　海南經由各港經由、濟州島行　五月十三日　仁川發
○江原丸　黃島、大靑島、延坪、大連、芝罘行　五月　日　仁川發
○麗水丸　○晉州丸　各港經由木浦行　五月十一日　五月十六日　仁川發
○錦江丸　○南陽丸　江華島、喬桐島、海州行　每日午前　仁川發
○平安丸　往航 大黑山、木浦、群山、若松行　復航 門司、木浦、群山行　五月十六日　五月十一日　群山發　若松發

共同汽船仁川出帆
阿波國共同汽船株式會社
○芝罘、大連行
第十共同丸　五月十二日入港　五月十四日前九時出港
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送御取扱仕候
大連にて青島行定期船接續荷客共通航船と同様御取扱可仕候
○城津、淸津、浦鹽行（元山出帆）
第一阪鶴丸　月　日後九時出
○西湖津、淸津沿岸各港を經て雄基行
第三共同丸（元山出帆）　月　日前八時出
仁川代理店 本町二丁目（電話一〇八番）　山下回漕部
元山代理店 春日町（電話二四七番）　田口回漕部
京城取次店 南大門（電話一六八二、二〇七）　河村運送店

平均値段
第一節 二十二圓九錢
第二節 二十二圓四十錢
第三節 二十一圓四十錢
第四節 二十二圓十四錢
五月限 三千三百五十六石